FUNAI

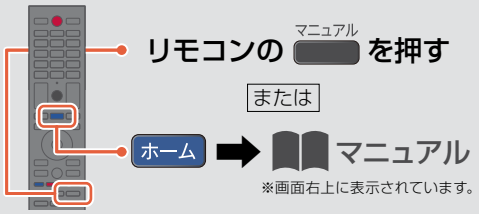
4K有機ELテレビ
8040シリーズ
7040シリーズ
取扱説明書

はじめに 2
接続する 16
視聴する 29
録画する 34
再生する 42
消去する 45
各種設定 46
さまざまな情報 47
English guide 60

よりくわしい説明については・・・

EM 電子マニュアルでご覧ください

取扱説明書(本書)よりもくわしい情報を、本機の画面上や、パソコン／スマートフォンなどでご確認いただけます。



8040シリーズ
funai.jp/tv/common/manual/8040/

7040シリーズ
funai.jp/tv/common/manual/7040/

型番
FE-65U8040
FE-55U8040
FE-65U7040
FE-55U7040

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
G-GUIDE

もくじ

はじめに

もくじ 2
- 本書について 3
- 本書で使用するマークの意味 3

安全のために必ずお守りください 4
ご使用上のお願い 8
まるごと録画ハードディスクについて 11
- まるごと録画ハードディスクの特長について 11

ご使用の前に 12
- 取扱説明書の種類について 12

各部のなまえとはたらき 13
- 本機前面／側面／背面 13
- リモコン 14
- まるごと録画ハードディスク 前面／背面 15

接続する

アンテナや外部機器をつなぐ 16
- アンテナをつなぐ 16
- まるごと録画ハードディスクをつなぐ 18
- 外部機器をつなぐ 20
- HDMI-CEC対応機器を操作する 22
- HDMI-CEC対応機器の操作のしかた 22

ネットワークをつなぐ 25
- LANケーブルを使ってつなぐ 25
- 無線LANを使ってつなぐ 25

無線LANやBluetooth®を使う際のお願い 27

視聴する

ホーム画面について 29
コンテンツ配信サービスを楽しむ 30
デジタル放送でできること 30
- 画面表示を確認する 30
- オプションメニューを使う 31

デジタル放送について 32
番組表（Gガイド）でできること 33
- 番組表について 33

録画する

録画の前に 34
- 録画するメディアについて 34

放送中の番組を録画する 35
- 録画する 35
- 録画を停止する 35

番組表から一発予約で録画予約する 36
録画予約を確認・変更・消去する 37
- 設定済みの録画予約を確認する 37
- 設定済みの録画予約の内容を変更する 37
- 番組表から録画予約の内容を変更する 39
- 録画予約スキップ（毎週／毎日録画を一時停止する） 39
- 不要な録画予約を消去する 39

録画についての補足説明 40

再生する

録画した番組を再生する 42
- 録画一覧（録画した番組の一覧）について 43

再生するときの操作 44
- 速度を変えて再生する 44
- スキップ・サーチ 44

消去する

録画した番組を消去する 45
- 録画一覧から不要な番組を消去する 45

各種設定

本機の情報を確認する 46
ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう 46
すべての情報を初期化する 46

さまざまな情報

まるごと録画ハードディスクでできること 47
- 録画番組を見る 47
- まるごと録画メニュー 48
- 画面表示の見かた 48

仕様 49
保証とアフターサービス 51
症状診断シート 52
困ったときは 53
- おかしいな?と思ったときの調べかた 53

テレビ画面に表示されるメッセージ 55
著作権などについて 57
著作権などについて（まるごと録画ハードディスク） 58
壁掛け金具取り付け時について 59

English guide

Name and function of each part 60
- Front view/side view/rear view 60
- Multi-channel recording hard disk front view/rear view 61
- Remote control 62

本書について

本書は、**8040**シリーズ（FE-65U8040/FE-55U8040）および**7040**シリーズ（FE-65U7040/FE-55U7040）用に作成しています。
シリーズで異なる項目や仕様については、8040シリーズ、7040シリーズを見出しの周辺に記載しています。

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞき「FE-65U8040／FE-65U7040」です。
- 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、マーク、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
ご注意	取り扱い上のご注意を記載しています。
お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを 記載しています。
P.1	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
EM	関連する内容を本機に搭載された「電子マニュアル」に記載しています。「電子マニュアル」を参照してください。
「はじめるガイド」をご覧ください	関連する内容を同梱されている「はじめるガイド」に記載しています。「はじめるガイド」を参照してください。
➡	リモコンの決定や▶などを押して、項目の決定や選択をすること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

- 説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、「用語の説明」をご覧ください。
  EM 「さまざまな情報」➡「用語の説明」
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。
- 本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

録画メディアを表すマーク

- 本書や本機の操作画面などでは、録画メディアを以下の通り表現しています。

本体	ハードディスク／内蔵ハードディスク／HDD／内蔵HDD
USB-HDD	USBハードディスク／外付けハードディスク／外付けHDD
まるごと録画ハードディスク	まるごと録画ハードディスク 8040シリーズ

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの	⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

▷ 絵表示の例

● 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

▷ 絵表示の意味

	必ず指示に従い、おこなってください。		絶対に濡れた手で触れないでください。
	絶対に分解・修理はしないでください。		破裂に注意してください。
	絶対に濡らさないでください。		絶対におこなわないでください。
	高温に注意してください。		絶対に水場では使用しないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		注意してください。
	絶対に触れないでください。		

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示
使用上のご注意
- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

■ 眼精疲労について

- 長時間有機ELテレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

⚠警告

■ ご使用になるとき

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。

禁止

テレビやまるごと録画ハードディスクの上に水などの入った容器や金属物、火のついたろうそくを置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)
- こぼれてテレビやまるごと録画ハードディスクの内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。
- 裸火が倒れた場合は、火災の原因となります。

禁止

水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない
- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

水濡れ禁止

水場での使用禁止

改造または分解しない
- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

改造・分解禁止

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する
- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。

指示

ダストスプレー(エアダスター)を使用しない
- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

禁止

■ 乾電池の取り扱い

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしているものは使用しない
- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

禁止

乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外で使用しない
- 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているか、もう一度確かめてください。

禁止

電源プラグのほこりなどはとる
- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布で拭いてください。

ほこりをとる

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない
- 落雷すると感電することがあります。

接触禁止

ぬれた手で電源コードおよびACアダプターのDCプラグや、ACアダプターにつないだ電源コードを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない
- 水は電気を通すため、感電の原因となる恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

ぬれ手禁止

電源コードを正しく使用する
- 束ねない　- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない
- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れて発熱し、焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

指示

電源コード・電源プラグ・ACアダプターのコードを傷つけない
- 破損させない　- 加熱しない
- 引っぱらない　- 加工しない
- 切断しない　- ねじらない
- 曲げない　- 重いものをのせない
- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる
- 発火の原因となります。

指示

電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない
- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

禁止

開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない
- 火災・感電の原因となります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない
- 感電・火災の原因となります。

禁止

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない
- 感電の原因となります。

禁止

電源コードを動かすと電源がオンになったり、オフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない
- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

禁止

内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く
- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

使用中止

プラグを抜く

次ページへつづく

■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

テレビやまるごと録画ハードディスク、ACアダプター、電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

■ 設置・移動するとき

テレビの開梱、スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する(3人以上を推奨)

- テレビにスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因となったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

本体は水平の状態で運ばない

- 有機ELパネルは非常に薄い構造で設計されており、かんたんに曲がる性質があるため、移動時などで水平にして持ち運びすると、パネルの破損や故障の原因となります。

パネルを強く握らない

- 有機ELパネルは非常に薄いガラス基板を使用しており、パネルに無理な力が加わると割れる恐れがあります。
  お手入れの際も、パネルの縁に軽く手を添える要領でおこなってください。

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は、窓からの海水や塩害に注意してください。

車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- テレビやまるごと録画ハードディスクは車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って使用しないでください。

テレビやまるごと録画ハードディスク、ACアダプターを次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

テレビやまるごと録画ハードディスクの上に乗ったり、テレビにぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 新聞紙・カーテン・テーブルクロスなどをかけない
- テレビの設置は、上面30 cm以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

8040シリーズ

- まるごと録画ハードディスク背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因となります。

持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

キャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

アンテナ工事は専門業者にお願いする

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

安定した場所に設置する

- テレビは安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

まるごと録画ハードディスクとACアダプターを周囲温度が35 ℃をこえる場所に置かない 8040シリーズ

- 内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

■ 電源コード・プラグの取り扱い

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

- 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす

プラグを抜く

- そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の原因となります。

電源コードを引っ張らない 8040シリーズ

禁止

- ACアダプターの電源コードやDCプラグを抜くとき、電源コードやACアダプターのコードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。
- 必ずACアダプターと電源コードのプラグ、DCプラグを持って抜いてください。

電源コードを引き回さない

禁止

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

禁止

- 発煙・発火の原因となります。

電源コードを熱器具に近付けないように注意

高温注意

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

■ ご使用になるとき

年に1度を目安に内部の掃除を依頼する

掃除

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

有機ELパネルの破損

禁止

- 有機ELパネルはガラスでできています。有機ELパネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

■ 乾電池の取り扱い

乾電池は正しく挿入する

正しく入れる

- プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定されていない乾電池を使用しない

使用禁止

- 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない

使用禁止

- 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

禁止

破裂注意

- 破裂する危険があります。

ご使用上のお願い

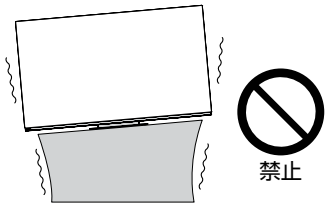
ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

置き場所や取り扱い

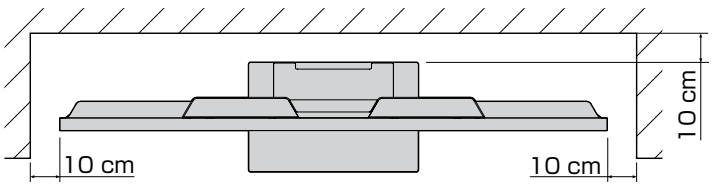
- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**【クイック起動】**を**【切】**に設定して、本機の電源をオフにしてから抜くことをおすすめします。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(USBハードディスクなど)を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(VHF:90 MHz～222 MHz、UHF:470 MHz～770 MHz、BS:1032 MHz～1336 MHz、CS:1595 MHz～2071 MHz、BS4K:2224 MHz～2681 MHz、110度CS4K:2748 MHz～3224 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話、電子レンジ、WiFiルーターなどの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源をオフにしておいてください。
  ※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源をオンにして作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
  (This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

本機の設置についてのお願い

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。
- 本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
- 本機が転倒や落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。



- 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。
- スタンドを取り付けて設置する際には、最低限、下図のスペースを設けてください。



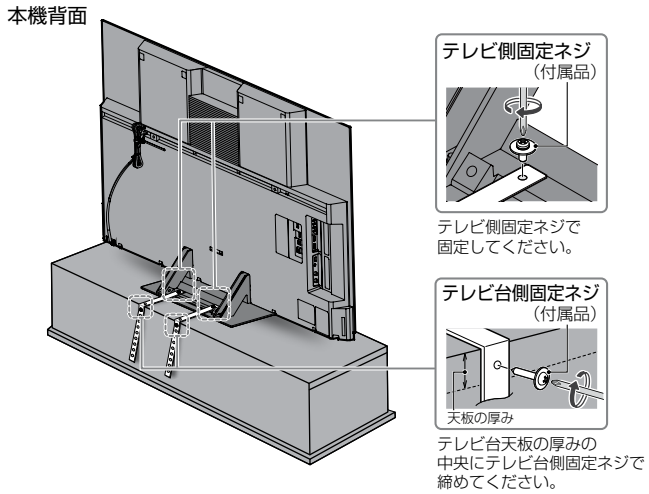
転倒防止についてのお願い

⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因となることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

テレビ台や家具などへの固定

お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをテレビ側固定ネジで本機に取り付けた後、テレビ台側固定ネジでお使いのテレビ台や家具に固定してください。
また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止バンドで固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。



ご注意
- 本機を再び移動させるときは、ネジをはずしてから移動させてください。
- ネジの取り付けは確実におこなってください。

アンテナについて

- 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送がおこなわれている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

次ページへつづく

ご使用上のお願い(つづき)

有機ELパネルについて

■ 有機ELパネルは、その高精細な画像を得るために採用している材料の特性上、焼き付きが発生することがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、繰り返し表示したりすると、焼き付き画像を元に戻せなくなる場合があります。

■ 主に下記の画像は焼き付きしやすいので、長時間継続しての表示を避けるようにしてください。
- 画像横縦比4:3の画像
- DVDやブルーレイディスクなどのタイトル画像
- ゲーム映像
- JPEGファイルや長時間静止した画像
- 上下に帯が表示される画像(レターボックス映像)
- レコーダーやCATV(ケーブルテレビ)チューナーなど接続機器のメニュー、番組表、チャンネル表示、文字放送やデータ放送などの静止した表示や繰り返し表示される画像

■ 本機は画面の焼き付きを低減するために以下の機能があります。
- 一定時間ごとに自動的に画像の表示位置を移動するスクリーンシフト機能を設定することができます。
- 一定期間無操作時に自動的にスクリーンセーバー機能が起動することがあります。

※YouTube、Prime Video、Huluなど、各種動画配信サービスのボタンを操作した場合は、すぐに各サービスを起動します。
※スクリーンセーバー機能が起動した状態で一定の時間経過で消費電力を低減するために、自動的に画面表示が消えます。

- 本機がパネルメンテナンスの実行が必要だと判断した場合は、お客様に対して、パネルメンテナンスの実行を促すメッセージを表示します。パネルメンテナンスにはメンテナンスに要する時間によって2種類(約10分/約70分)あり、本機は視聴状況に合わせて、最適なメンテナンスの実行を促すメッセージを表示します。
- パネルメンテナンス機能を有効にするためには、常にリモコンまたは本機側面の電源ボタンで電源をオフにすることを推奨します。
- パネルメンテナンスは手動で実行することもできますが、有機ELパネルに負担がかかりますので、頻繁に実行することは避けてください。
  [EM]「各種設定」➡「その他の設定をする」➡「パネルメンテナンスを実行する」
- パネルメンテナンス中はパネルに触れないようにしてください。

リモコンについて

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

■ 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。

■ 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。

■ 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5 V 2本)をお使いください。

■ 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。

■ 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

■ 以下の場合、操作結果が確認できるように本機が見える位置から操作してください。
- 本機のリモコン操作をする場合
- Wake-on-LANに対応した機器から本機を操作する場合
- 本機に対応したアプリで操作をする場合

お手入れについて

■ キャビネットや有機ELパネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

■ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭き取り、最後にかわいた柔かい布でから拭きしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書きをよくお読みください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

修理について

■ **本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。P.51

まるごと録画ハードディスクについて 8040シリーズ

まるごと録画ハードディスクの特長について

まるごと録画ハードディスクは「まるごと録画」の専用機です。番組単位ではなく、お好みの複数のチャンネルを“まるごと”録画できます。また、まるごと録画した番組を保存しておくこともできます。

▷ 録画する

まるごと録画

1日最大23時間·6チャンネルの番組を同時に自動で録画します。

※まるごと録画ハードディスクは、放送のデータを圧縮変換し、録画します。

▷ 保存する

まるごと録画番組を保存する

まるごと録画された番組は、まるごと録画用領域の容量がいっぱいになると、古い番組から自動的に消去されます。番組保存をおこなうと、お気に入りの番組を残しておくことができます。

▷ 視聴する

まるごと録画番組を見る

番組表形式の「まるごと録画一覧」から、録画番組をかんたんに見ることができます。

おすすめ再生をする

お好みの番組を自動で分類し、まとめて再生できます。番組終了まで再生した場合は、自動的に次の番組を再生してくれるので、連続ドラマなどのシリーズ番組を一気に見るときにも便利です。

※まるごと録画ハードディスクで再生できるのは、まるごと録画された番組のみです。まるごと録画で設定されたチャンネル以外の番組や設定時間外の番組は視聴できません。

ご注意

- まるごと録画ハードディスクは8040シリーズ専用機器のため、8040シリーズ以外は動作保証外です。
- まるごと録画ハードディスクには専用のリモコンは付属しておりません。HDMI連動機能を使用し、テレビに付属のリモコンで操作します。テレビ側の**[HDMI 制御]**を無効に設定していると、使用することができません。P. 22

まるごと録画ハードディスクのご使用上のお願いについて

■ 録画·録音について
- まるごと録画ハードディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画·録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- まるごと録画ハードディスクの動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限(録画禁止など)があるものがあります。このときは、まるごと録画をしても録画が実行できない場合があります。

■ 停電について
- まるごと録画ハードディスクの録画中に停電があったとき、その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。

■ 冷却用ファンについて
- 電源オフ(待機)時以外では、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

■ メディア再生時の制限事項
- ボタン操作中にテレビ画面に⃠が表示されることがあります。⃠が表示されたときは、現在まるごと録画ハードディスクがその操作をおこなえないことを示します。

■ ソフトウェアの更新について
- まるごと録画ハードディスクは品質について万全を期していますが、まるごと録画ハードディスク内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。
- まるごと録画ハードディスクの**[放送波による自動更新]**を**[自動更新する]**に設定しておくと、放送電波に含まれるソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアを更新することができます。(地上デジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。お買い上げ時は、**[自動更新する]**に設定されています。)
  ソフトウェアの更新や**[自動更新する]**についてくわしくは EM ➡「まるごと録画ハードディスクについて」➡「ソフトウェア情報と更新について」をご覧ください。
- ソフトウェアの更新中は電源をオフ(待機)にしたり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

■ HDMI連動機能(**[機器制御]**機能)について
- テレビ側の**[HDMI 制御]**を無効に設定していると、使用することができません。P. 22
- 推奨機器以外の機器をまるごと録画ハードディスクのHDMI出力端子に接続した場合に、まるごと録画ハードディスクがHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作を保証するものではありません。

■ 結露(露付き)について
- 結露(露付き)とは、例えば、よく冷えたビールをコップについだときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、内部の部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。
- 結露(露付き)は下記の状態のときにおきやすくなります。
  - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
  - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
  - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
  - 夏季に、冷房のきいた部屋·車内などから急に温度·湿度の高いところに移動したとき
- 結露(露付き)がおきたとき、またはおきそうなときは、まるごと録画ハードディスクのご使用をただちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。結露(露付き)がおきた状態でまるごと録画ハードディスクを使用すると、部品を傷めることがあります。

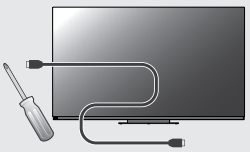
ご使用の前に

取扱説明書の種類について

本機の説明は、内容によって**取扱説明書**(本書)と**電子マニュアル**(本機に搭載)に分けて記載しています。
必要な情報にあわせて、**取扱説明書**または**電子マニュアル**をご覧ください。

取扱説明書(本書)に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 設置、接続について
- 基本的な操作の説明



※その他、本機をお使いになる前にご覧いただきたい情報などを記載しています。
※電子マニュアルによりくわしい説明が記載されている内容について、
取扱説明書(本書)では EM を記載しています。

電子マニュアルに記載している主な内容

- 機能の説明
- くわしい操作の説明
- 詳細な設定について
- 困ったときは

※本機の機能を存分にお使いいただくために、取扱説明書(本書)には記載されていない
よりくわしい情報を、本機の画面上や、パソコン／スマートフォンなどでご確認いただけます。

リモコンの マニュアル を押す
または
ホーム → マニュアル
※画面右上に表示されています。

8040シリーズ
funai.jp/tv/common/manual/8040/

7040シリーズ
funai.jp/tv/common/manual/7040/

さらにくわしい情報は、パソコンやスマートフォンから、当社製品情報サイトの「サポート」ページをご覧ください。

funai.jp/cs/

- ソフトウェアの更新情報
- 最新の取扱説明書(本書)
- 困ったときは
- よくあるご質問
- 接続確認済み機器
- 壁掛け金具

サポート動画のご案内

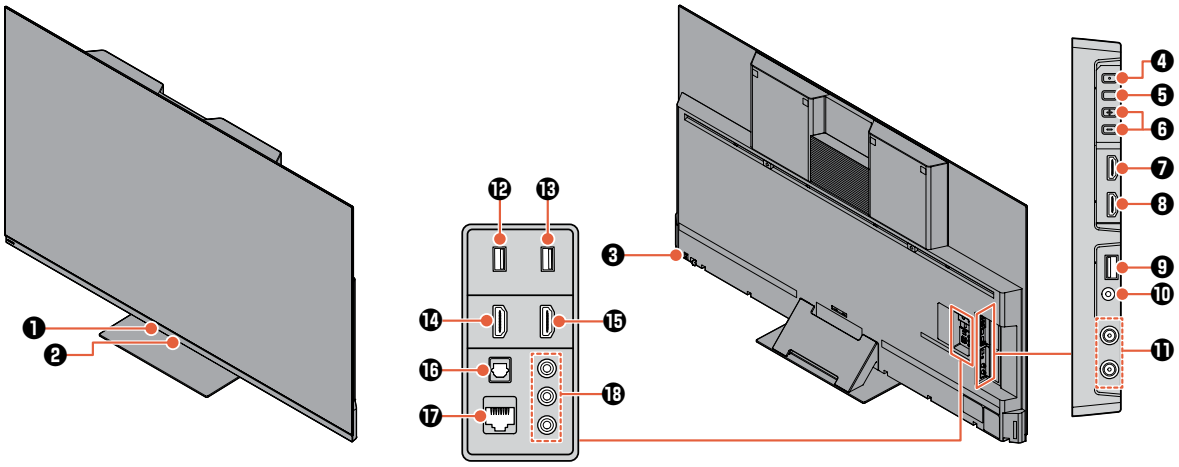
当社製品情報サイトの「製品情報」ページで、接続方法や使いかたをわかりやすく説明したサポート動画をご覧いただけます。

8040シリーズ
funai.jp/tv/8040/#point-supportmovie

7040シリーズ
funai.jp/tv/7040/#point-supportmovie

各部のなまえとはたらき

本機前面／側面／背面



❶ 明るさセンサー受光部/リモコン受光部

❷ 電源LED

青点灯……本機が電源オンの状態です。
白点灯……本機が電源オフであり、かつ予約があるとき、または本機が録画状態です。
青白点灯…本機が電源オンであり、かつ予約があるとき、または本機が録画状態です。
消灯……本機が電源オフの待機状態、または**【電源LED】**を**【切】**にした状態です。
白点滅……パネルメンテナンスを実行している状態です。

❸ 盗難防止器具取付スロット

❹ 電源

❺ 機能切換　押すごとに機能(入力切換／チャンネル切換／音量)を切り換えます。

❻ 音量　音量を調節します。
入力切換機能／チャンネル切換機能では、それぞれの設定を変更します。

❼ HDMI 4端子

❽ HDMI 3端子

❾ USB 3 AV周辺機器用端子
USBメモリーなどを接続します。

❿ ステレオヘッドホン挿し込み端子

⓫ 地上デジタル、BS・110度CSアンテナ入力端子
(上)地上デジタル入力
(下)BS・110度CS入力(新4K衛星放送対応)

⓬ USB 1 通常録画(HDD用)端子

⓭ USB 2 AV周辺機器用端子
USBメモリーなどを接続します。

⓮ HDMI 1端子(ARC対応)

⓯ HDMI 2端子

⓰ 光デジタル音声出力端子

⓱ LAN端子

⓲ ビデオ入力端子

お知らせ

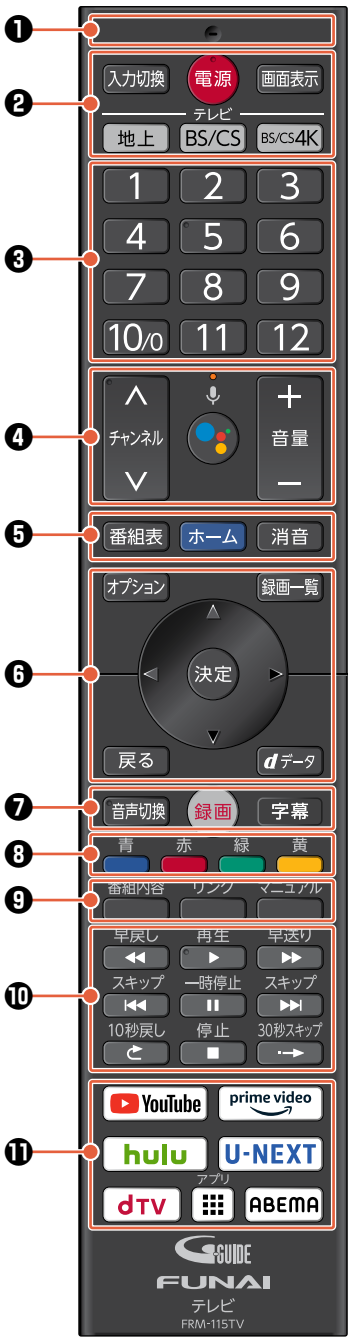
- 電源ボタンでオフにすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新がおこなわれる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。

ご注意

- 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
- **映像**・・・黄、**音声ー左**・・・白、**音声ー右**・・・赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグ本体を持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本機のUSB端子には、通常録画用USBハードディスク、AV周辺機器(USBメモリーなど)、USBキーボードやUSBマウス以外の機器を接続しないでください。USBマウスまたはUSBキーボードは、アプリによっては動作しない場合があります。

次ページへつづく

リモコン



❶ **マイク**
音声を認識します。

❷ **入力切換**
押すごとに入力を切り換えます。

電源
電源のオンやオフができます。

画面表示 P.30

地上
地上デジタル放送に切り換えます。

BS/CS
押すごとにBSデジタル放送と110度CSデジタル放送を切り換えます。

BS/CS4K
押すごとにBS4K放送とCS4K放送を切り換えます。

❸ **数字ボタン**
チャンネルを直接選べます。

❹ **チャンネル**
視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。

LED
点滅…リモコンがペアリングモードの状態です。
点灯…Google アシスタントボタンを押し、マイクが有効の状態です。

Google アシスタントボタン
Google アシスタントに話しかけるには、リモコンのアシスタントボタンを押します。

音量
音量を調節できます。

❺ **番組表** P.33

ホーム P.29

消音
音を一時的に消し、もう一度押すと元の音量に戻ります。

❻ **オプション** P.31

録画一覧 P.42

決定／▲・▼・◀・▶
オプションなどで選択や決定がおこなえます。

戻る
オプション表示中に一つ前の画面に戻ります。

dデータ
データ放送に切り換えます。
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「データ放送を見る」

❼ **音声切換**
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「音声を切り換える」

録画 P.35

字幕
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「字幕を出す」

❽ **カラーボタン（青／赤／緑／黄）**
番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで使用します。

❾ **番組内容**
番組内容を確認できます。

リンク P.22

マニュアル
電子マニュアルを表示します。

❿ **早戻し／再生／早送り／スキップダウン／一時停止／スキップアップ／10秒戻し／停止／30秒スキップ** P.44

⓫ **YouTube/Prime Video/Hulu/U-NEXT/dTV/ABEMA**
各動画配信サービスに直接アクセスできます。

アプリ
インストール済みのアプリの一覧を表示します。

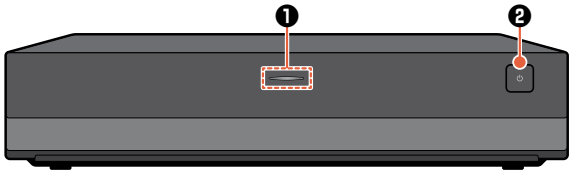
▷リモコンの使用範囲（赤外線）について

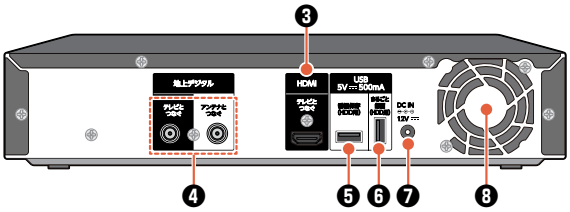
リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。
距離 … 本機正面から7 m以内
角度 … 本機正面から上下約15°以内（5 m以内）、左右約30°以内（5 m以内）
リモコンをBluetooth®で接続している場合は、使用範囲が異なります。P.28

お知らせ
- 電源 以外で、動画配信サービスのボタンを押して本機の電源をオンにすることもできます。
- まるごと録画ハードディスクの操作については、EM「はじめに」➡「各部のなまえとはたらき」➡「リモコン」をご覧ください。

ご注意
- リモコンのマイクで音声を認識するにはBluetoothでのペアリングが必要です。くわしくはEM「はじめに」➡「各部のなまえとはたらき」➡「リモコン」をご覧ください。
- リモコンが正しく操作できないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」をご覧ください。P.53
- 乾電池の入れかたについて、くわしくは**はじめるガイド**の「リモコンを準備する」をご覧ください。
- 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製テレビの操作はできません。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

まるごと録画ハードディスク 前面／背面 8040シリーズ





❶ 電源LED

青点灯……電源オン
白点灯……電源オフ（まるごと録画中）
白点滅……ソフトウェアの更新中
消灯……電源オフ（待機）※
（電源プラグをコンセントから抜いても問題ない状態）

※使用状況によっては、電源をオフ（待機）にしてからLEDが消灯するまでに時間がかかることがあります。

❷ 電源ボタン

❸ テレビ用HDMI出力端子

❹ 地上デジタルアンテナ出力／入力端子

❺ 番組保存用USB端子

❻ まるごと録画用USB端子

❼ ACアダプター挿し込み口

❽ 冷却用ファン

ご注意

- DC IN 12 V（⎓）は、12 V直流電源のことです。
- 電源LED消灯時もまるごと録画ハードディスクおよびACアダプターは通電しています。通電を完全に止めるためには、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 内部の放熱をよくするために、まるごと録画ハードディスクの上および周囲にそれぞれ10 cm以上の空間を設けてください。また、通風孔や冷却用ファンをふさがないでください。

お知らせ

- 背面の冷却用ファンは、まるごと録画ハードディスクの電源がオフ（待機）のとき以外は、常時回ります。

アンテナや外部機器をつなぐ

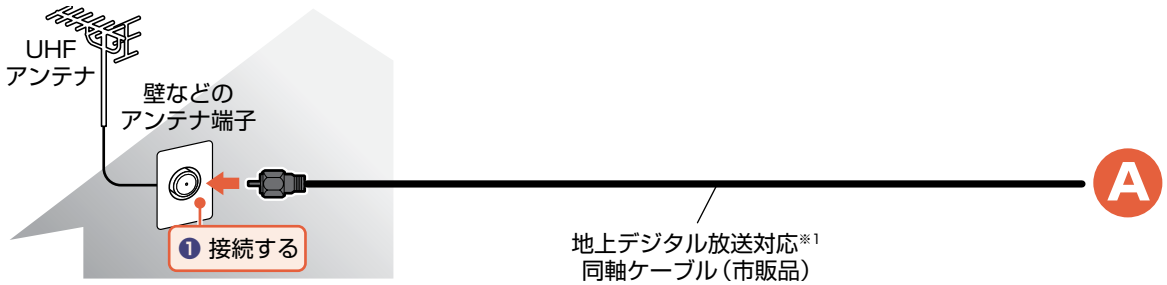
- 7040シリーズ「アンテナや外部機器をつなぐ」をご覧ください。P. 16
- 8040シリーズ「まるごと録画ハードディスクをつなぐ」をご覧ください。P. 18
※8040シリーズは接続方法が異なります。

アンテナをつなぐ 7040シリーズ

■ 本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

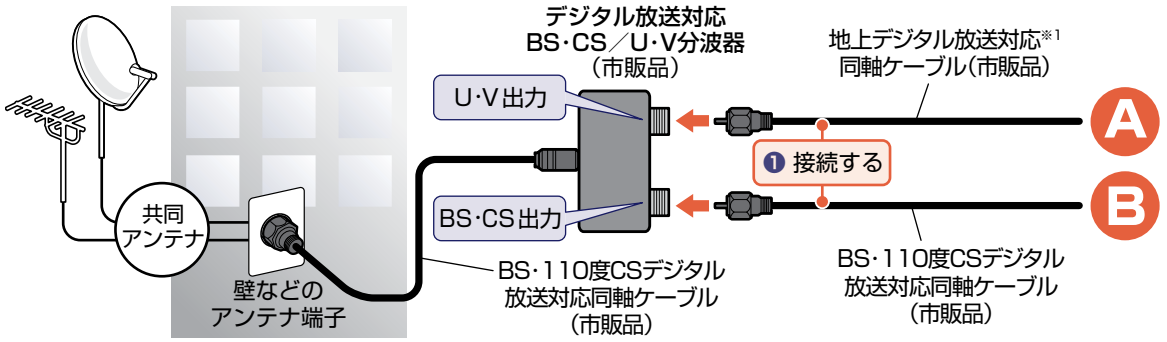


BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

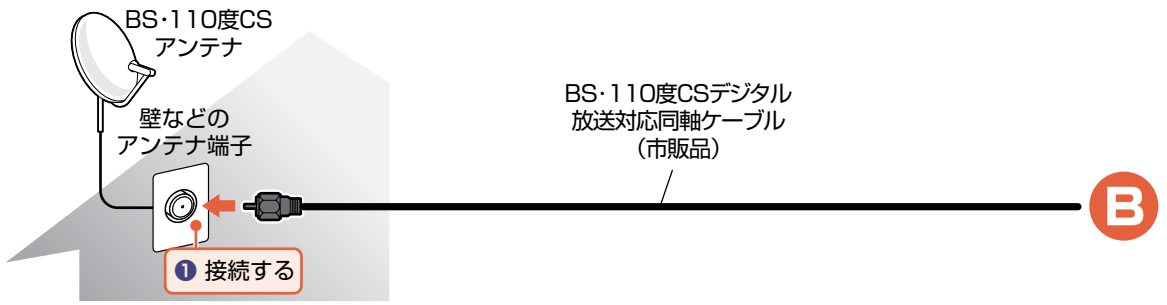
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

▷ **アンテナ端子が1つのときは**

- マンションやアパートなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁などのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。



▷ **アンテナ端子が別々のときは**



※1 シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

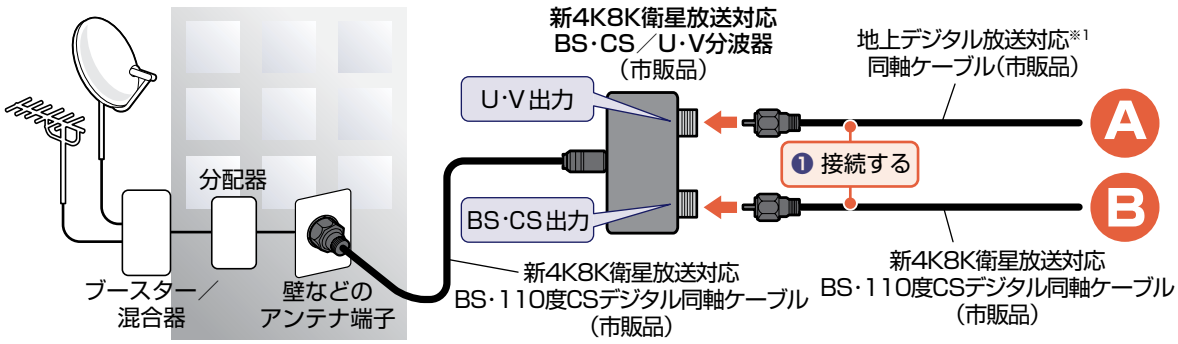
ご注意
- BSアンテナに電源を供給する場合は、アンテナ電源設定をおこなってください。
電源設定を正しくおこなわないと、受信ができないことがあります。
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」

BS4K・110度CS4K放送用アンテナ端子をつなぐ

すべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、右旋・左旋円偏波対応のアンテナ・壁面端子・ブースター・分配器・分波器などが必要です。

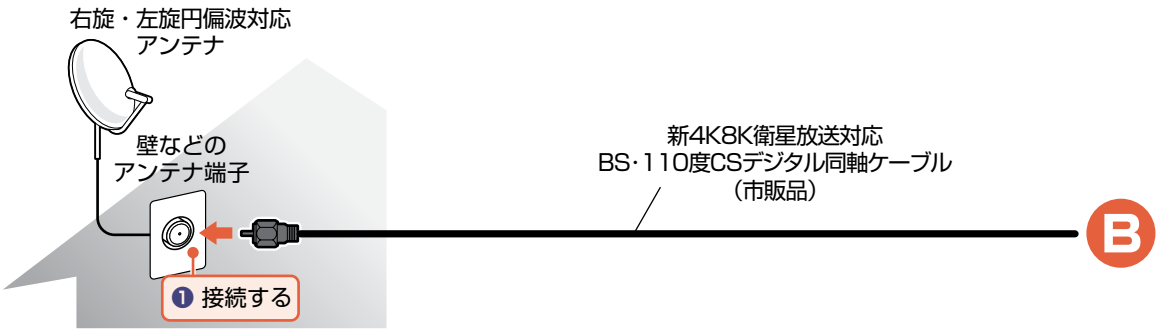
▷ アンテナ端子が1つのときは

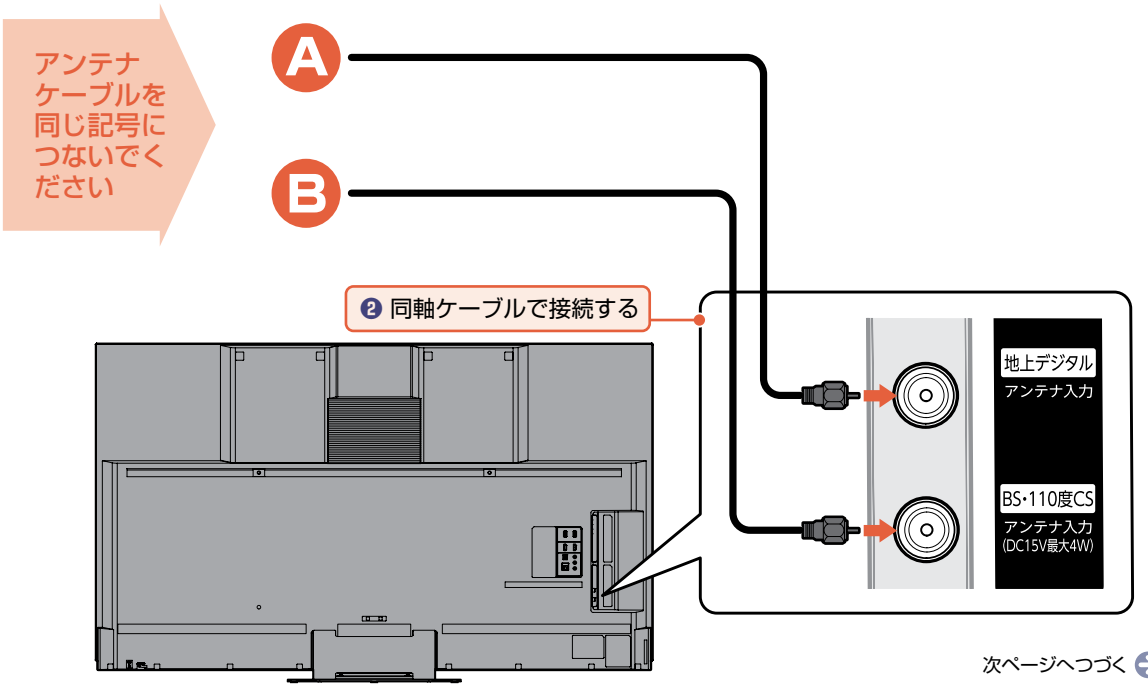
- マンションやアパートなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS4K・110度CS4K放送の信号が混合で出力される壁などのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS4K・110度CS4K放送の信号を分けてください。



※1 シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

▷ アンテナ端子が別々のときは



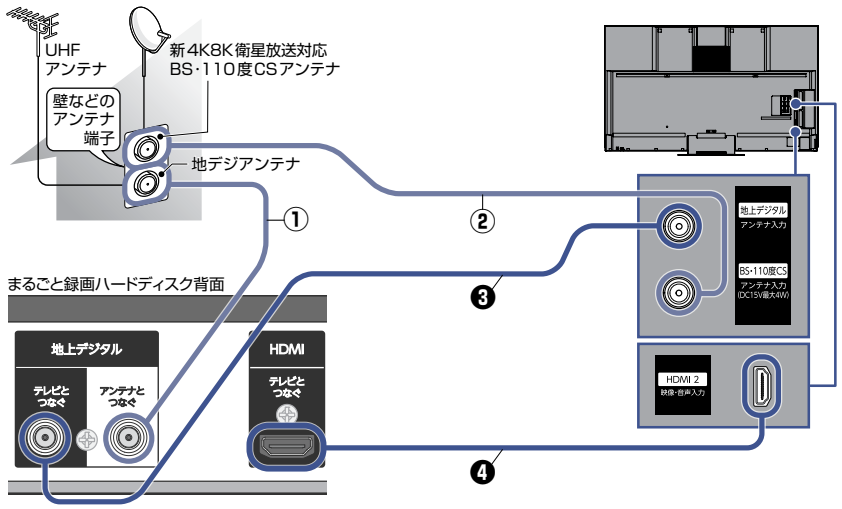


次ページへつづく

まるごと録画ハードディスクをつなぐ 8040シリーズ

■ デジタル放送用のアンテナやケーブルまたはプラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
■ 平行フィーダー線は受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。

壁などのアンテナ端子が2つの場合

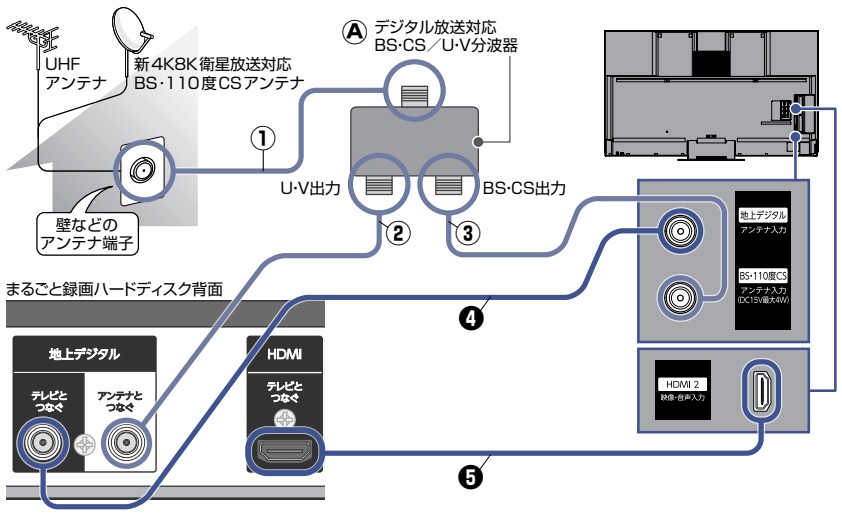


接続に必要なもの

① 地上デジタル放送対応※1 同軸ケーブル（市販品）
② 新4K8K衛星放送対応 BS・110度CSデジタル放送アンテナケーブル（市販品）
❸ 同軸ケーブル（地上デジタル放送専用）（付属品）
❹ HDMIケーブル（付属品）

◎ **地上デジタル放送のみを視聴する場合は、①❸❹のみ使用します。**

壁などのアンテナ端子が1つの場合



接続に必要なもの

① 新4K8K衛星放送対応 BS・110度CSデジタル放送アンテナケーブル（市販品）
② 地上デジタル放送対応※1 同軸ケーブル（市販品）
③ 新4K8K衛星放送対応 BS・110度CSデジタル放送アンテナケーブル（市販品）
❹ 同軸ケーブル（地上デジタル放送専用）（付属品）
❺ HDMIケーブル（付属品）
Ⓐ 分波器

◎ **地上デジタル放送のみを受信する場合は、①❹❺のみ使用します。**
①はまるごと録画ハードディスクの「アンテナとつなぐ」端子に直接つないでください。

ご使用の分波器や設置場所により地上デジタル放送アンテナケーブルの長さが不足している場合は、
付属の「同軸延長ケーブル（地上デジタル放送専用）」をご使用ください。

※1 シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

ご注意

- まるごと録画ハードディスクではBS・110度CSデジタル放送と新4K8K衛星放送の受信はできません。
- まるごと録画ハードディスクの電源プラグは常にコンセントに挿し込んで（通電状態にして）おいてください。まるごと録画ハードディスクの電源プラグをコンセントから抜くと、お買い上げのテレビで放送を受信できなくなる場合があります。
- まるごと録画ハードディスクのHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI-HDMIケーブルには対応しておりません。
- アンテナ線をまるごと録画ハードディスクにつなぐときは、緩まない程度に手で取り付けてください。
工具で絞めつけると端子が破損する恐れがあります。

電源プラグを挿し込む

▶準備

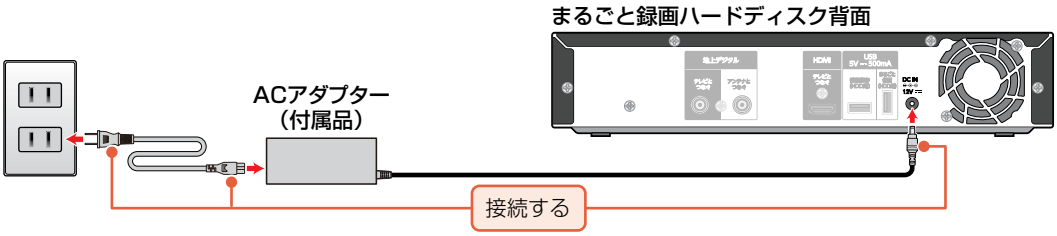
- テレビの電源プラグをコンセントにつないでおく

1 ACアダプターのDCプラグをまるごと録画ハードディスク背面に接続し、ACアダプターに電源コードを接続する

- 奥までしっかり挿し込んでください。

2 電源プラグを交流（AC）100Vのコンセントに挿し込む

- まるごと録画ハードディスクが通電状態になり、まるごと録画ハードディスクの電源LED（青）が点灯します。



ご注意

- 通電中はACアダプターの温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、ACアダプターの上および周囲にそれぞれ10 cm以上の空間を設けてください。
- 付属のACアダプター、電源コードはまるごと録画ハードディスク専用です。他の機器では使用しないでください。また、他の機器のACアダプター、電源コードをまるごと録画ハードディスクに使用しないでください。
- 電源プラグを抜くときは、電源をオフ（待機）にして、まるごと録画ハードディスクの電源LEDが消灯したことを確認してから電源プラグを抜いてください。
- まるごと録画ハードディスクの動作中は電源プラグを抜き挿ししないでください。正常に録画できなかったり、内蔵ハードディスク／USBハードディスクが使用できなくなったりする恐れがあります。
- 接続が終わって初めてテレビの電源をオンにしたときは、画面に**【かんたん一括設定】**の開始画面が表示されます。画面の案内に従って設定を完了させてください。
  くわしくは EM「まるごと録画ハードディスクについて」➡「「かんたん一括設定」をする」をご覧ください。

テレビの入力を切り換える

1 電源をオンにする

2 リンク を押す

- まるごと録画の最後に表示した画面が表示されます。
- HDMI機器を2台以上接続している場合は、リンクメニューが表示されます。
  リンクメニューから「HDMI○（まるごと録画）に入力切換」を選んで、決定を押してください。
  ※「HDMI○（まるごと録画）に入力切換」の「○」は番号を表示します。
- テレビに戻る場合は、地上、BS/CS、BS/CS4Kを押す、または リンク ➡「テレビに戻る」を選んで、決定を押してください。

お知らせ

- 入力が切り換わらない場合は、入力切換を押して、まるごと録画ハードディスクが接続されているHDMIを選んで、決定を押してください。

ご注意

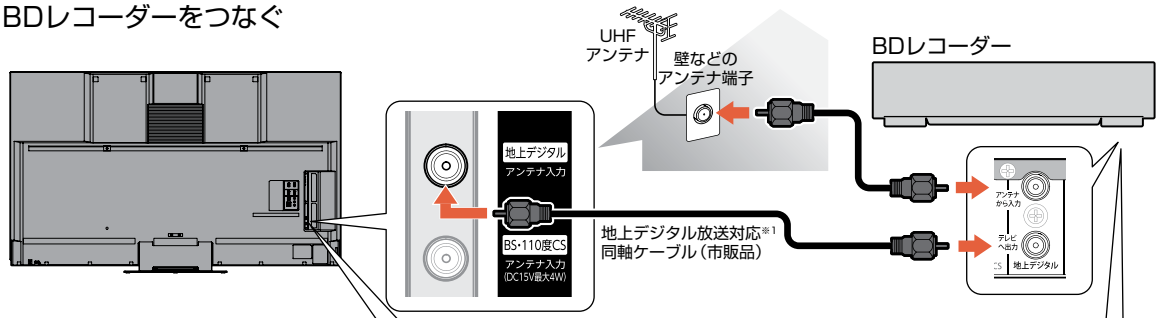
- HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）を使用して、テレビに付属しているリモコンでのまるごと録画ハードディスクの操作を可能にします。テレビ側のHDMI-CECの設定が「切」になっているとまるごと録画ハードディスクを操作することができません。P. 22

次ページへつづく

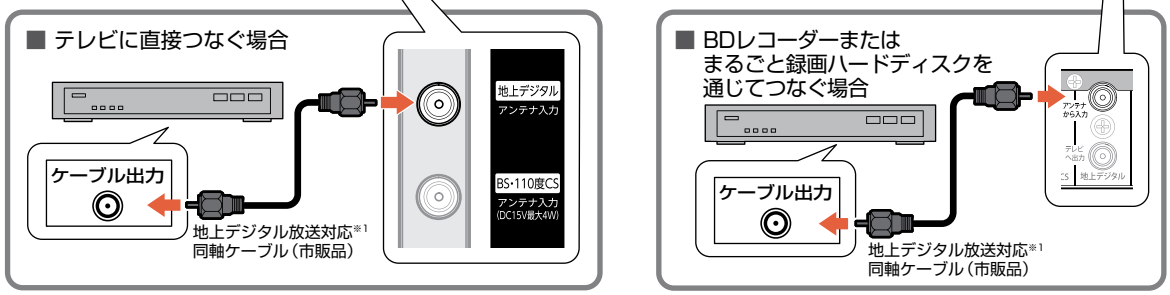
外部機器をつなぐ

BDレコーダーまたはCATV（ケーブルテレビ）チューナーをアンテナでつなぐ

BDレコーダーをつなぐ



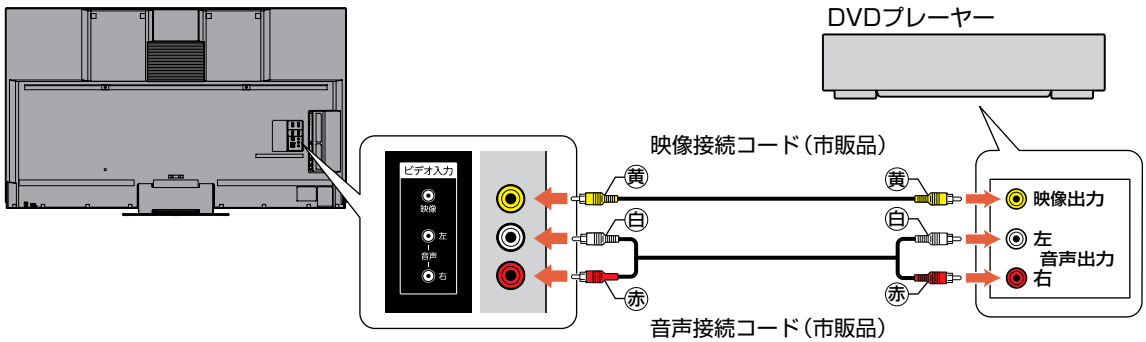
CATVチューナーをつなぐ



※1 シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

ご注意
- 本機でBS4K・CS4K放送を視聴する際は、4K放送に非対応のBDレコーダーやCATVチューナーなどを経由して、本機にBS・CSアンテナ線を接続しないでください。本機で4K放送を受信できない場合があります。

DVDプレーヤーとつなぐ（HDMI出力が無い機器）

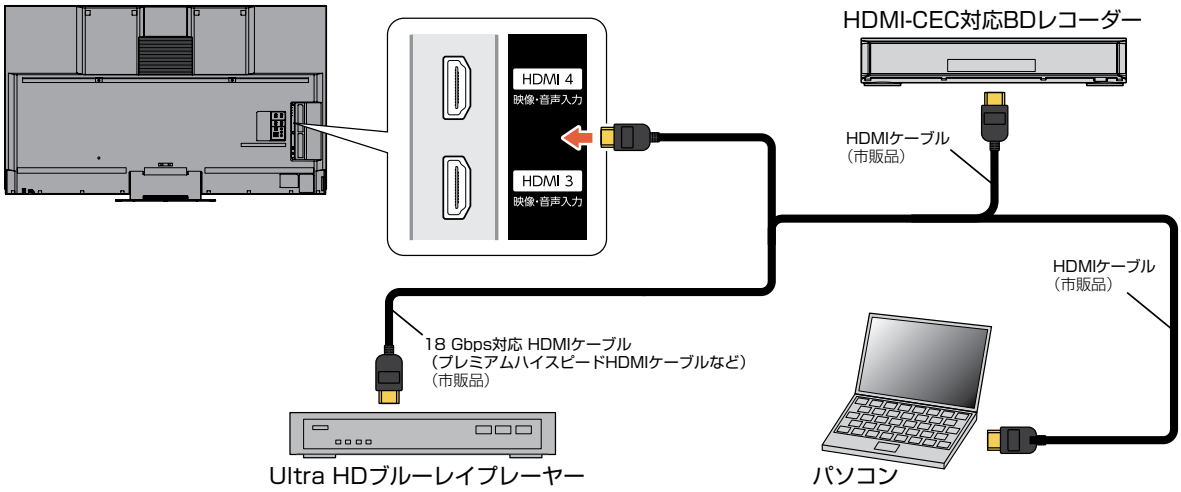


お知らせ
- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。
  この場合は、**[画面サイズ]**でお好みの画面サイズを選んでください。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「画面サイズを選ぶ」
- つないだ機器で見るときは、入力切換で**[ビデオ]**を選んでください。

ご注意
- DVDプレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面サイズの設定を16:9にしてください。
  4:3（レターボックス、パンスキャン）に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

HDMI機器をつなぐ

BDレコーダーなどの外部機器と本機を接続する場合は、**外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子(1〜4)**をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。
また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。(当社製のBDレコーダー側では、**[機器制御]**を有効に設定してください。)HDMI機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC対応機器を操作する」をご覧ください。P.22
例: HDMI-CEC対応BDレコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
  480i、480p、720p、
  1080i、1080p 24 Hz／30 Hz／59.94 Hz／60 Hz、
  2160p 24 Hz／30 Hz／59.94 Hz／60 Hz
- 対応している音声信号
  種類:リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーアトモス
  サンプリング周波数:48 kHz／44.1 kHz／32 kHz
- HDMI機器の映像や音声を楽しむときは、**[入力切換]**で**[HDMI 1〜4]**を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- HDMI入力が正しく映らない場合は、ホーム ➡ ⚙ ➡ **[デバイス設定]** ➡ **[入力]** ➡ **[HDMI信号フォーマット]**で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。
  EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI信号フォーマットを設定する」

ご注意

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- Ultra HDブルーレイプレーヤーなどで4K映像や4K HDR映像を視聴する場合は、18 Gbps対応HDMIケーブル(プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)をご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンと接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

HDMI-CEC対応機器を操作する

HDMI-CECに対応したBDレコーダーやAVアンプを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作(再生など)ができます。HDMI-CEC対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。(仕様は予告なく変更する場合があります。)

8040シリーズ
まるごと録画ハードディスクはテレビ側のHDMI-CECの設定が無効になっていると操作することができません。

▷ 本機でHDMI-CEC機能を使うには

本　機…ホーム ➡ ⚙ ➡ **[デバイス設定]** ➡ **[入力]** ➡ **[HDMI 制御]**を有効に設定しておいてください。
くわしくは EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI-CECを設定する」ご覧ください。

接続機器…接続機器側のHDMI-CEC設定を**[入]**にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI-CEC対応機器の操作のしかた

1 リンクを押す

- オプション ➡ **リンクメニュー**を選んで 決定 を押して表示することもできます。

2 操作したい項目を選んで決定を押す

▷ リンクメニューについて

- **放送視聴中のとき**

項目名(一例)	できること
入力切換	CECに対応した機器(レコーダーなど)を接続時、接続機器に入力を切り換えます。
レコーダーに録画	レコーダーでの番組録画を開始します。※2
レコーダーの録画を停止	レコーダーでの番組録画を停止します。
録画先設定	録画する録画先のレコーダーを選択します。
スピーカー出力	音声の出力先を設定します。

- **HDMI入力のとき**

項目名(一例)	できること
ホームメニュー	接続機器のホームメニューを表示します。
録画一覧	接続機器の「録画リスト画面」などを表示します。
オプション(サブメニュー)	接続機器の「サブメニュー画面」などを表示します。※1
レコーダーに録画	レコーダーでの番組録画を開始します。※2
レコーダーの録画を停止	レコーダーでの番組録画を停止します。
電源オフ	本機のリモコンで接続機器の電源をオフにします。
録画先設定	録画する録画先のレコーダーを選択します。
スピーカー出力	音声の出力先を設定します。
テレビに戻る	テレビで最後に選局していたチャンネルを選局します。

- **HDMI(まるごと録画ハードディスク)入力のとき** 8040シリーズ

項目名(一例)	できること
まるごと録画メニュー	接続機器のまるごと録画メニューを表示します。
まるごと録画一覧	接続機器の「まるごと録画一覧」を表示します。
おすすめ再生	接続機器の「おすすめ再生画面」を表示します。
スピーカー出力	音声の出力先を設定します。
テレビに戻る	テレビで最後に選局していたチャンネルを選局します。

※1 接続機器によっては、操作ができない場合があります。
※2 BS4K・110度CS4K放送の番組は、本機能に非対応です。

お知らせ
- 接続機器によっては、表示される画面が異なることがあります。
- レコーダーに録画／レコーダーの録画を停止／録画先設定は付属のまるごと録画ハードディスクは設定できません。 8040シリーズ

ARC対応のオーディオ機器とつなぐ

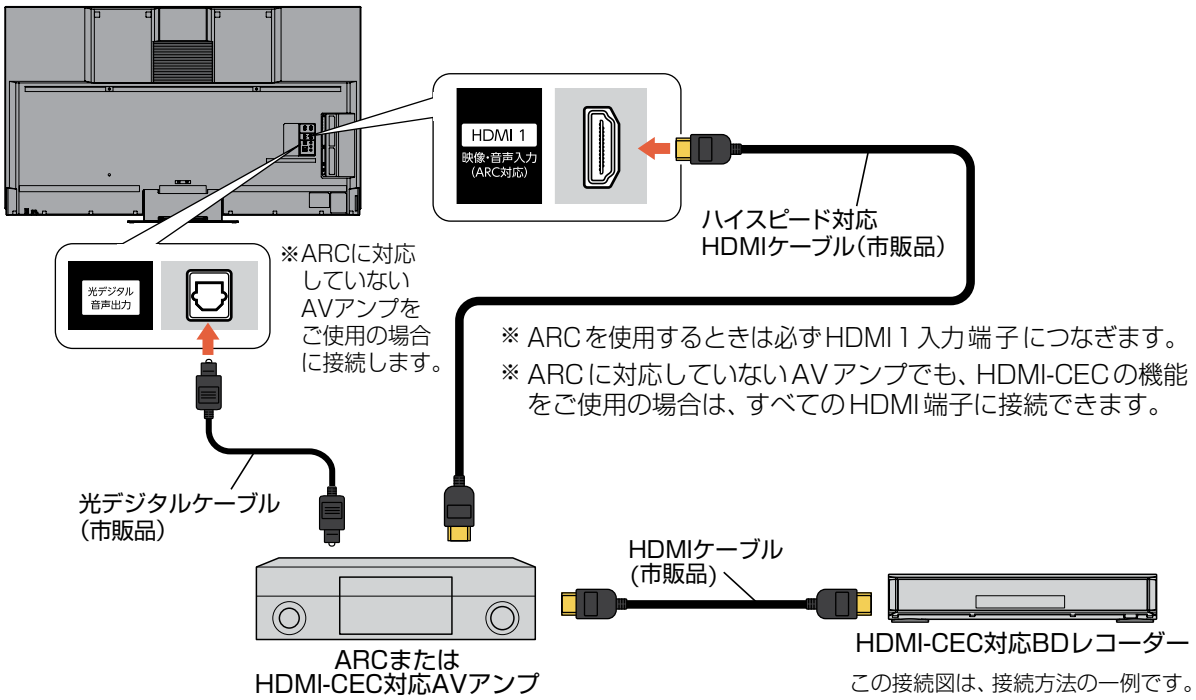
▷ ARC(オーディオリターンチャンネル)について

テレビとオーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)をHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもオーディオ機器もARCに対応している必要があります。また、本機はHDMI1入力端子のみARCに対応しています。

例: ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。
EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC対応機器を操作する」➡「HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する」接続後は、下記の設定をする必要があります。

- **[HDMI制御]**を有効に設定する。
  EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI-CECを設定する」
- 光デジタル音声出力接続時は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**を設定する。
  EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」➡「デジタル音声出力」
- **[スピーカー出力]**を**[外部オーディオ機器]**に設定する。
  EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」➡「スピーカー出力」



この接続図は、接続方法の一例です。

ご注意

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、BDレコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。また、光デジタル音声出力もAVアンプと接続してください。(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です。)AVアンプの電源がオンのとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるように設定してください。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源がオフになっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。電源オンやスタンバイモードにしてください。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、**HDMI 1入力端子**につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC対応AVアンプがPCMしか対応していないときは、**[デジタル音声出力]**を**[PCM]**に設定してください。
  EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」➡「デジタル音声出力」
- **[HDMI制御]**を無効に設定しているときは、**[HDMI制御]**を有効に設定してください。
  EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI-CECを設定する」

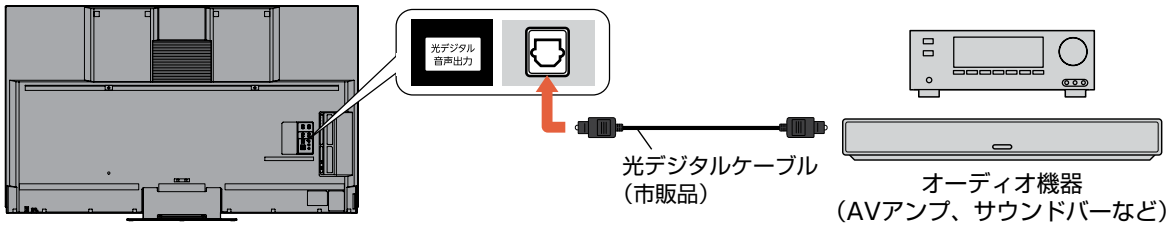
次ページへつづく

アンテナや外部機器をつなぐ（つづき）

光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続

光デジタル音声入力端子を持つオーディオ機器（AVアンプ、サウンドバーなど）を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**の設定が必要です。

EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」➡「デジタル音声出力」



お知らせ
- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、光デジタル音声入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- オーディオ機器（AVアンプ、サウンドバーなど）を使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にするか、**[スピーカー出力]**を**[外部オーディオ機器]**にしてください。EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」➡「スピーカー出力」

ご注意
- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ずオフにしてください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

USBハードディスクをつなぐ

■ バスパワー型のUSBハードディスクは、本機のUSB 1（通常録画（HDD用））端子からの電源供給（最大900 mA）だけでは正しく動作しないことがあります。バスパワー型のUSBハードディスクをご使用の場合は、各USBハードディスクメーカー指定の給電用ACアダプターのご使用を推奨します。（ご使用のUSBハードディスクがACアダプターによる給電に対応していることをご確認ください。）

■ USBハードディスクは必ずUSB 1（通常録画（HDD用））端子に接続してください。

■ USBハードディスクが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSBハードディスクの電源をオンにしてください。

次のようなことはおこなわないでください。

■ USB機器の動作中に、USBメモリーやUSBハードディスクの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。

■ USB機器の動作中に、USBハードディスクや本機の電源をオフにしない。

USB機器の故障やデータが消失する恐れがあります。

USBハードディスクは、製品に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

▷ 通常録画用USBハードディスクを接続したあとは

- 本機にUSBハードディスクを通常録画用として登録してください。
  （本機に登録していないUSBハードディスクはお使いになれません。）
- 未登録のUSBハードディスクを接続すると、登録設定の確認画面が表示されますので、**[はい]**を選んで決定を押してください。
  そのあと、「USBハードディスクを通常録画用として登録する」の手順3に進んでください。

EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

▷ USBハードディスクを取りはずすには

セルフパワー型のUSBハードディスクを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源をオフにしてからUSBハードディスクの電源をオフにして取りはずしてください。

お知らせ
- USB 1（通常録画（HDD用））端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 登録可能なUSBハードディスクを接続しても登録設定の確認画面が表示されなかった場合は、ホーム➡⚙➡**[テレビの設定]**➡**[USBハードディスク設定]**➡**[USBハードディスク登録設定]**から**[（未登録）]**のUSBハードディスクを選んで登録してください。USBハードディスクの最新情報や詳細は、当社製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ（funai.jp/cs/device/）でご確認ください。

ご注意
- バスパワー型のUSBハードディスクはまるごと録画ハードディスクの動作保証外です。セルフパワー型をご使用ください。
  8040シリーズ

ネットワークをつなぐ

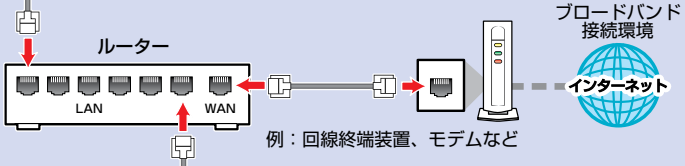
用途やお客様のネットワーク環境によって、接続方法が異なります。
以下を確認しながら正しく接続してください。

LANケーブルを使ってつなぐ

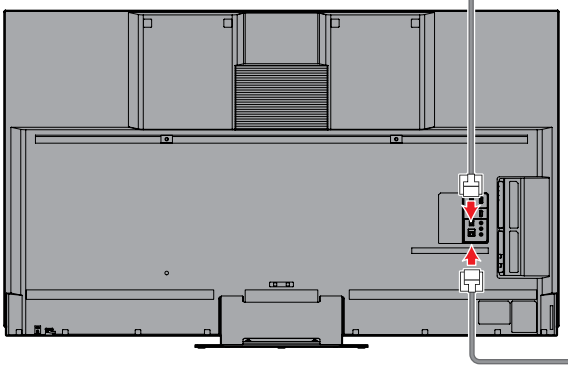
他機の映像などを再生したい
他機の映像などを本機で再生できます。

▷**必要な設定**
EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」➡「LANケーブルを使ってつなぐ」

お知らせ
- 複数の他機を同時に接続する場合は、ルーターに他機を接続してから、本機とルーターを接続してください。



■ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき

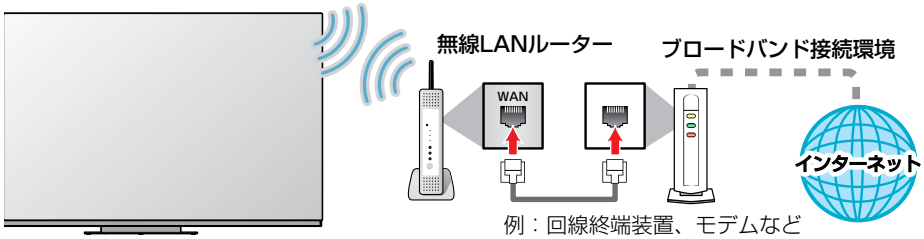


■本機と他機をLANケーブルで直接つなぐとき
ブロードバンド常時接続環境がない場合は、
本機と他機をLANケーブルで直接つないでください。

他機の番組などを再生したい

無線LANを使ってつなぐ

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。



例：回線終端装置、モデムなど

次ページへつづく

ネットワークをつなぐ(つづき)

▷ ネットワーク接続環境

- 本機は、公衆無線LAN接続には対応しておりません。
- 通信速度が十分でない場合は、動画配信サービスやホームネットワークの映像が途切れることがあります。
- FUNAI Connectに必要な動作環境
  FUNAI Connect Android™版、FUNAI Connect iOS版が動作するスマートフォン・タブレット動作環境に関しては、当社製品情報サイトの「アプリ」ページ(funai.jp/apps/)でご確認ください。

▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器に、1000Base-T／100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 使用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- ネットワーク接続の動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。

▷ 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▷ すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターなどの設定はできません。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

▷ ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者へお問い合わせください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリー5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、ホーム ➡ ⚙ ➡ **[デバイス設定]** ➡ **[端末情報]** ➡ **[ステータス]**で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

無線LANやBluetooth®を使う際のお願い

- 本機および付属のリモコンは日本国の電波法に基づく無線設備です。分解して使用すると法律で罰せられることがあります。
- 本機に搭載されている無線LAN設備や、本機および付属のリモコンに搭載されているBluetoothは、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4 GHz帯と5 GHz帯、本機および付属のリモコンのBluetoothが使用する周波数帯は2.4 GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機に内蔵の無線LANや、本機および付属のリモコンのBluetoothをお使いになる場合は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANや、本機および付属のリモコンに搭載されているBluetoothが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

無線LAN／Bluetoothを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LAN／Bluetoothの使用を停止し、当社お客様ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社お客様ご相談窓口へお問い合わせください。

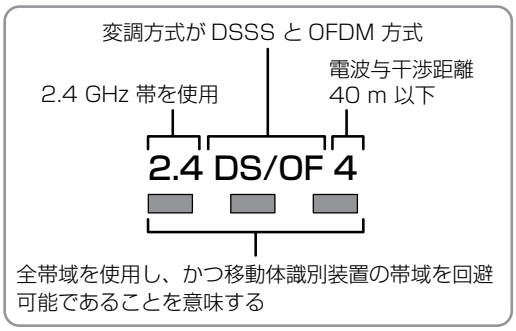
無線LANの規格について

- 5 GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。一部、5 GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5 GHz帯を使用せずに2.4 GHz帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、右図の内容を示しています。
- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b／g／n

IEEE802.11a／n／ac

~~J52~~ **W52** **W53** **W56**



規格		チャンネル	周波数帯(中心周波数帯)
IEEE802.11b／g／n		1～13	2.412～2.472 GHz
IEEE802.11a／n／ac	W52	36, 40, 44, 48	5.18～5.24 GHz
	W53	52, 56, 60, 64	5.26～5.32 GHz
	W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140	5.50～5.70 GHz

※本機は従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。

ご注意

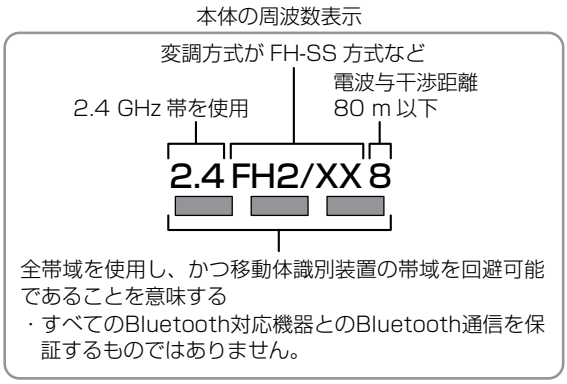
- 5 GHz 帯に対応した無線LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5 GHz 帯でのご使用をおすすめします。
- 2.4 GHz 帯の無線LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、以下にご注意ください。
  - USB3.0対応のUSB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz 帯の機器(電子レンジなど)を本機の近くで使用すると、無線LAN通信が途切れることがあります。USB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz 帯の機器をお使いになるときは、本機の近くには設置せず、本機からできるだけ離して配置してください。
  - 4K 衛星放送受信に影響を与えますので、本機からできるだけ離して配置してください。
- まるごと録画ハードディスクには無線LANやBluetoothは搭載されておりません。8040シリーズ

次ページへつづく

無線LANやBluetooth®を使う際のお願い(つづき)

Bluetoothの規格について

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



- Bluetoothの性能や環境条件による影響など。

ご注意

- 本機はBluetoothに対応していますが、すべてのBluetooth機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。
- Bluetoothでは約10 mまでの距離で接続できますが、障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素などに影響されます。
- 2.4 GHz帯の機器(無線LANや電子レンジなど)の近くでお使いの場合は、Bluetoothの接続や通信が途切れたり、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
- Bluetoothの電波は動作に影響を与える可能性があるため、電子医療機器などの近くではBluetooth通信や接続はおこなわないでください。
- 本機に同時接続できるBluetoothオーディオ機器は1台のみです。ただし、Bluetoothオーディオ機器以外のBluetooth機器の場合は、複数台同時接続できます。
  - (例:Bluetoothスピーカーを1台と、付属のリモコンやBluetoothキーボードを同時接続することができます。)
- Bluetoothオーディオ機器を本機と接続している状態では、本機スピーカーから音声を同時に出力することはできません。
- Bluetoothオーディオ機器への音声転送時対応コーデック(圧縮方式)は、標準のSBC(Sub-Band Codec)です。
  - (LDAC、AAC、aptX、eSBCなどには対応していません)
- Bluetoothの特性により、送信側の音声に比べて受信側のBluetoothオーディオ機器では再生がわずかに遅れます。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth通信をおこなう際はご注意ください。

無線LAN製品やBluetooth機器ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品やBluetooth機器はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをおすすめします。
- 無線LANやBluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ホーム画面について

いろいろな機能を呼び出せます。

基本的な使いかた

1 ホーム を押して、ホーム画面を表示する

2 項目を▲・▼で選ぶ

3 ◀・▶でコンテンツや機能を選んで 決定 を押す

▷ **ホーム画面に表示されるコンテンツについて**
EM「はじめに」➡「ホーム画面について」

ホーム画面

① コンテンツ
② 通知（ある場合のみ表示）
③ 入力
④ マニュアル
⑤ 設定

※設定内容や画面表示は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

各項目で操作できる主な内容

以下、すべての機能をご利用いただくためには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

② 通知

お知らせを表示します。

マニュアル

電子マニュアル P. 12

入力切換

EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「外部機器の映像を見る（入力切換）」

設定

〈 機能設定 〉

音声設定 EM「各種設定」➡「音声出力を設定する」

省エネ設定 EM「各種設定」➡「省エネ設定をする」

制限設定 EM「各種設定」➡「制限を設定する」

その他の設定 EM「各種設定」➡「その他の設定をする」

〈 USBハードディスク設定 〉

USBハードディスク登録設定
EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

USBハードディスク名変更
EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクの名前を変更する」

〈 放送受信設定 〉

地上デジタル設定、BS/CS/BS4K/CS4K設定、共通設定
EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」

〈 かんたん一括設定 〉

EM「はじめに」➡「「かんたん一括設定」をする」

〈 お知らせメール 〉

EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「お知らせメールについて」

〈 ネットワークとインターネット 〉

ネットワーク接続設定
EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」

〈 アカウントとログイン 〉

別紙「初期設定のご案内」

〈 アプリ 〉

EM「はじめに」➡「ホーム画面について」➡「アプリ」

〈 デバイス設定 〉

端末情報 EM「各種設定」➡「ソフトウェアを更新する」

～中略～ 画面の指示に従って操作してください。

入力
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「外部機器の映像を見る（入力切換）」

リセット P. 46

〈 リモコンとアクセサリ 〉

アクセサリの追加
EM「はじめに」➡「アンテナや外部機器をつなぐ」➡「Bluetooth機器を追加（ペアリング）する」

コンテンツ配信サービスを楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、動画や音楽、ゲームなどさまざまなコンテンツ配信サービスをお楽しみいただけます。ご利用いただくには、アプリのインストールや、別途契約(有料)が必要なコンテンツ配信サービスもあります。また、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

お知らせ
- コンテンツ配信サービス利用中に文字入力が必要な場合は、画面表示に沿って操作してください。
- 動画配信サービスのご利用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

コンテンツ配信サービスのご利用に必要な接続と設定

本機でコンテンツ配信サービスを利用するためには、ブロードバンド環境(FTTH、CATV(ケーブルテレビ)など)が必要です。利用する前に、「ネットワークを接続・設定する」で通信設定をおこなってください。
EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」
動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。
くわしくは各動画配信サービスまたはお客様が契約されたプロバイダーのサイトをご覧ください。

デジタル放送でできること

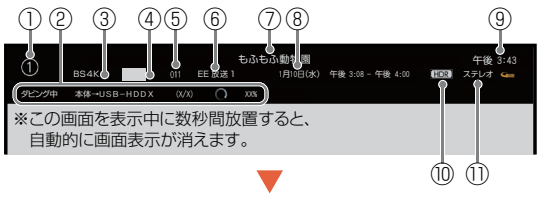
画面表示を確認する

現在視聴している番組名、チャンネル番号、放送や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

画面表示 を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。
- 外部入力についてくわしくは EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「画面表示を確認する」をご覧ください。

▷ デジタル放送のとき



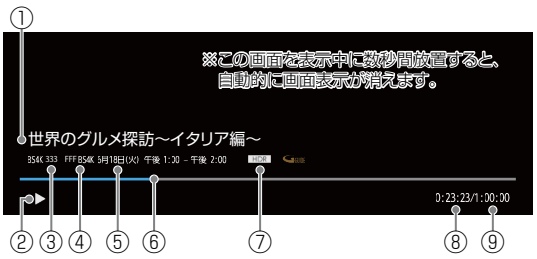
現在放送中の番組

① リモコンのボタン番号
② ダビング経過状況
③ 放送の種類
④ 放送局のロゴ
⑤ 放送局の3桁のチャンネル番号
⑥ 放送局名
⑦ 現在放送中の番組名
⑧ 番組の放送日時
⑨ 現在時刻
⑩ HDRアイコン(信号受信時のみ)
⑪ 音声の種類※

お知らせ
- 本機の動作状態(放送の視聴中や再生中、録画中など)によって、表示される情報が変わります。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

※デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主/副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名(視聴中の番組により「日本語」、「英語」など、表示が異なります)があります。

▷ 録画番組を再生しているとき



再生中の録画番組

① 録画番組名
② 動作状態
③ 放送の種類/放送局の3桁のチャンネル番号
④ 放送局名
⑤ 録画番組の録画日時
⑥ タイムバー(再生位置の目安)
⑦ HDRアイコン(信号受信時のみ)
⑧ 再生時間
⑨ 総再生時間

▷ 外部入力のとき

現在放送中の番組

① 解像度
② 4K HDRアイコン(信号受信時のみ)
③ 外部入力の種類
④ 音声の種類
⑤ Dolby Vision/Atmosアイコン(信号受信時のみ)

お知らせ
- デジタル放送か外部入力の視聴中に、無操作状態が続くと自動的に電源をオフにする、**無操作電源オフ**機能を設定することができます。くわしくは EM「各種設定」➡「省エネ設定をする」をご覧ください。

オプションメニューを使う

オプションを押すと、現在の視聴中の画面に対して、各種設定の変更ができます。

映像モード※1
「各種設定」➡「映像モードを設定する」

画質設定※1
「各種設定」➡「画質を設定する」

音声モード※1
「各種設定」➡「音声を設定する」➡「音声モード」

音質設定※1
「各種設定」➡「音声を設定する」➡「音質設定」

画面サイズ※1
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「画面サイズを選ぶ」

HDMI 入力映像の設定※1
「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI信号フォーマットを設定する」
「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI RGBレンジを設定する」

放送オプション
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送を見る」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「音声を切り換える」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「字幕を出す」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「アングルを切り換える」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「マルチ番組の映像、音声などを切り換える」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「サービスを切り換える(独立データ放送を見る)」
「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」

番組内容
「視聴する」➡「番組表(Gガイド)でできること」➡「番組内容を表示する」

オンタイマー※2
「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「自動的に電源をオンにする(オンタイマー)」

おやすみタイマー※2
「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「自動的に電源をオフにする(おやすみタイマー)」

消画
「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「映像を非表示にする(消画)」

時計
現在時刻の表示／非表示を切り換えることができます。

リンクメニュー
「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC対応機器を操作する」➡「HDMI-CEC対応機器の操作のしかた」

※1 **[映像/音声の設定]**の中に項目があります。
※2 **[タイマー]**の中に項目があります。

お知らせ
- 視聴中の画面によって表示される各種設定の内容は異なります。

デジタル放送について

本機は、地上デジタル／BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kチューナーを搭載しています。
※「本機」とは「お使いのテレビ」のことを表します。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のサイト https://www.apab.or.jp/をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店へお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV（ケーブルテレビ）で受信することもできます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が放送されているかは、CATV放送会社へお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送をおこなっています。
有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター

TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00～20：00（年中無休）
https://www.wowow.co.jp/

■「スターチャンネル」カスタマーセンター

TEL：0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間　10：00～18：00（年中無休）
https://www.star-ch.jp/

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー !」への加入申し込みと契約が必要です。
110度CS デジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。
本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

■「スカパー !」カスタマーセンター（総合窓口）

TEL：フリーダイヤル　0120-039-888
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
https://www.skyperfectv.co.jp/

新4K8K衛星放送

- 従来のデジタル放送をこえる高精細な映像でより臨場感を楽しめます。
- BS・110度CSを使った新しい4K・8K放送です。本機で8K放送の受信はできません。
- 本機は新4K8K衛星放送における「スカパー !」の放送に対応しています。

番組表(Gガイド)でできること

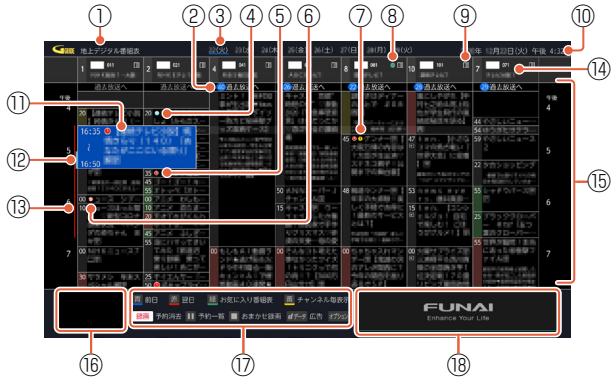
番組表について

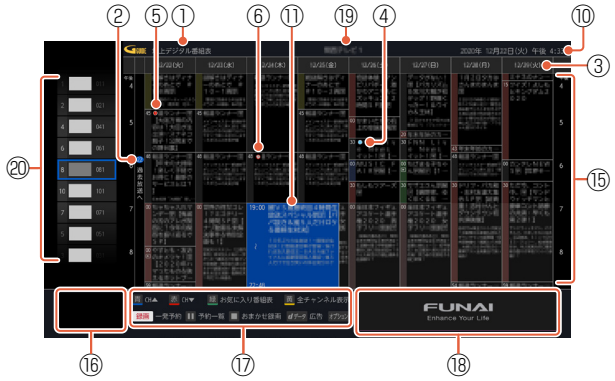
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K放送、CS4K放送の番組表を表示することができます。

番組表を押して、地上、BS/CSまたはBS/CS4Kでお好みの放送の種類を選ぶ

- 番組表を表示中に緑を押して、お気に入り番組表に切り換えることもできます。
- 番組表を表示中に黄を押して、チャンネルごとの番組表に切り換えることもできます。

番組表の見かた





① 番組表の種類
② 過去番組数表示：放送局ごとの過去番組の数を表示します。
③ 表示している番組表の日付
④ (青)：視聴予約済み
⑤ (赤)：録画予約済み
⑥ (赤)：繰り返し録画予約済み
⑦ (黄)：他の予約と重複している予約番組
(予約一覧 P.37 では 重複 が表示されます)
⑧ (緑)：お気に入り番組表に登録済みのチャンネル
⑨ サブチャンネル非表示
⑩ 現在の日時
⑪ 選択中の番組
⑫ 視聴予約を設定している時間帯(青色帯)
⑬ 録画予約を設定している時間帯(赤色帯)
⑭ 放送局のロゴ／放送局の3桁のチャンネル番号／放送局名
⑮ 時間
⑯ 現在視聴中の放送局の映像
⑰ 操作ガイド
⑱ 広告
⑲ 選択中のチャンネル名
⑳ チャンネル一覧

ご注意

- 本機で番組表にBS4K·CS4K放送のすべてのチャンネルを表示するには、BS4K·110度CS4K放送(左旋)の受信ができる環境が必要です。環境が整っていない場合は、「決定ボタンで選局し、放送番組がある場合、番組データを取得します。4K放送の視聴およびデータの取得にはBS4K·110度CS4K放送(左旋)の受信ができる環境が必要です。」と表示されているチャンネルは受信できません。
- 8K放送の番組は、番組表に表示されていても、本機では視聴も録画もできません。
- 受信や視聴ができないチャンネルの番組表をチャンネルスキップの設定で、表示しないようにすることができます。
EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する」
- 本機で動画配信サービスを使用した過去放送番組を視聴するには**[かんたん一括設定]**でのプライバシーポリシーへの同意、ネットワーク接続とアプリのインストールおよびアカウントの登録が必要です。
くわしくは EM「視聴する」➡「コンテンツ配信サービスを楽しむ」➡「過去放送番組を視聴する前に」をご覧ください。

録画の前に

本体 USB-HDD

本機では、デジタル放送を最大で2番組まで同時に録画できます。
ただし、BS4K・CS4K放送を2番組同時に録画することはできません。
本機でデジタル放送を録画する場合は、録画モードDR(固定)となり、他の録画モードは選べません。
ただし当社製のBDレコーダーと接続している場合は、任意の録画モードでBDレコーダーへ録画予約が可能です。
※上記説明内容に、まるごと録画ハードディスクの録画は含まれません。

ご注意 ● 本機の不具合または放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画するメディアについて

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限	本体 USB-HDD まるごと録画ハードディスク
制限なしに録画可能	○
コピーワンス(1回だけ録画可能)	○
ダビング10	○
録画禁止	×

○:できる　×:できない

ご注意 ● デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
● 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。

最大記録可能数／登録数／文字数について

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	本体 USB-HDD まるごと録画ハードディスク
番組数	2,000
USB-HDD名の文字数	全角40文字
番組名の文字数	全角40文字

● 視聴予約数※　最大20件　● 録画予約数※　最大200件(まるごと録画ハードディスクを除く)
● ダビングリストの番組登録数　36　● 1番組あたりの連続録画可能時間　15時間
※例えば、視聴予約の登録が20件に到達している場合は、録画予約数は180件まで予約可能となります。
録画予約数が200件に到達している場合は、視聴予約はできません。

お知らせ ● 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

放送中の番組を録画する

本体 USB-HDD

録画する

放送中の番組を録画することができます。

1 地上、BS/CSまたはBS/CS4Kを押して、録画したい放送を選ぶ

2 ∧/∨または1～12で録画したい
チャンネルを選ぶ

3 放送視聴中に録画を押す

- 録画を使った一発予約の録画先は**録画ボタンの設定**で設定した、本体またはUSBハードディスクになります。
  EM「視聴する」➡「番組表(Gガイド)でできること」➡「番組表の設定をする」
- 番組が終了すると自動的に録画を停止します。

お知らせ
- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、画面表示を押して画面表示を表示すると確認できます。

録画を停止する

録画中に、録画を停止できます。

放送視聴中に停止を押す
または番組表から録画中の番組を選んで録画を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで決定を押してください。録画が停止します。
- 停止した位置までが1つの番組となります。
  (停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)

番組表から一発予約で録画予約する

本体 USB-HDD

1 番組表を押す

2 地上、BS/CSまたはBS/CS4Kを押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 予約したい番組を選んで録画を押す

- 録画予約が確定し、選んだ番組に（赤）が表示されます。
- 予約録画が始まると、帯部分が赤い表示に変わります。
  - 録画を使った一発予約の録画先は**録画ボタンの設定**で設定した、本体またはUSBハードディスクになります。
    EM「視聴する」➡「番組表（Gガイド）でできること」➡「番組表の設定をする」
  - 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
  - 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
  - 予約の設定が終わったら、戻るを押してください。

▷ 予約の内容を変更したいときは

①一発予約した番組を選んで決定を押す

②**録画予約変更／消去**を選んで決定を押す

③予約の内容を変更する

- くわしくはEM「録画する」➡「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」の手順5以降をご覧ください。

▷ 予約の確認・消去をするときは

予約の確認「設定済みの録画予約を確認する」、予約の消去「不要な録画予約を消去する」をご覧ください。P.37 P.39

▷ 録画を停止するときは

現在放送中の番組を視聴中に停止を押す、または番組表から録画中の番組を選んで録画を押す。

- 停止した位置までが1つの番組となります。
  （停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで決定を押してください。

お知らせ
- 予約が重なったときは、「予約が重なったときは」をご覧ください。P.40

録画予約を確認・変更・消去する

本体 USB-HDD

設定済みの録画予約を確認する

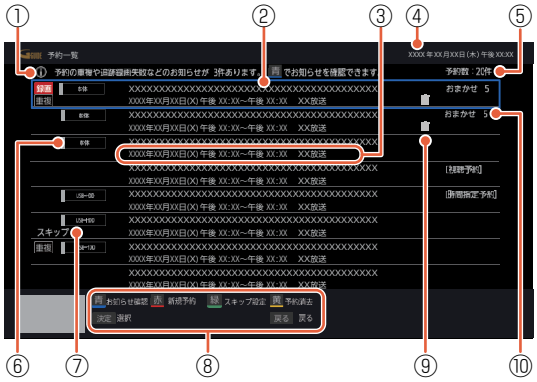
予約一覧で録画予約を確認することができます。

1 番組表 を押す

2 オプション ➡ 予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表の表示中に、一時停止 を押して 予約一覧 を直接表示することもできます。
- 確認が終わったら、戻る を押してください。

予約一覧の見かた



① 予約結果のお知らせ
② 番組名
③ 予約日時、放送局名
④ 現在の日時
⑤ 登録済みの予約件数
⑥ 録画先メディア
⑦ スキップ設定をしている予約
⑧ 操作ガイド
⑨ 自動消去アイコン
⑩ おまかせ録画

■ 録画中の予約には、録画 が表示されます。
■ 重複 が表示されたときは、「重なっている予約を確認するときは」をご覧ください。P.40
■ **[予約結果のお知らせ]**画面についてくわしい説明は
EM「録画する」➡「録画についての補足説明」➡「予約録画が正常におこなわれなかったときは」

設定済みの録画予約の内容を変更する

予約一覧または番組表から録画予約の内容を変更することができます。

予約一覧から録画予約の内容を変更する

1 番組表 を押す

2 オプション を押して、予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表の表示中に、一時停止 を押して 予約一覧 を直接表示することもできます。

3 変更したい録画予約を選んで 決定 を押す

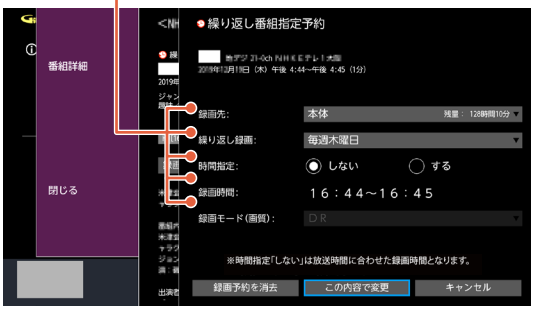
4 録画予約変更 / 消去 を選んで 決定 を押す

次ページへつづく

録画予約を確認・変更・消去する（つづき）

5 変更したい項目へ移動して、内容を変更する

▲・▼ で各項目を選んで 決定 を押す



- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

6 設定内容を変更したい項目を選んで 決定 を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

番組表予約で設定できる項目一覧

録画先	本体
	USB-HDD
	HDMI○:XXX※1※2
繰り返し録画	しない
	毎週○曜日（○は曜日を表示）
	毎日
	毎週○～○曜日（○は曜日を表示）
時間指定	しない
	する※3

※1 **[HDMI]**の「○」は番号、「X」はデバイス名を表示します。
※2 4K放送の場合は選択できません。
※3 録画時間が変更できます。

▷ **録画モードについて**

EM 「録画する」➡「録画の前に」➡「録画モードについて」をご覧ください。

7 すべて設定が終わったら、この内容で変更 へ移動して、決定 を押す

- 予約が確定し、予約一覧 に戻ります。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

▷ **予約が重なったときは**

「予約が重なったときは」をご覧ください。P. 40

ご注意
- 番組表から録画予約した番組の場合は、時間指定の予約に変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、「番組表から録画予約した場合の自動追跡について」をご覧ください。P. 41

番組表から録画予約の内容を変更する

EM「録画する」➡「録画予約を確認･変更･消去する」➡「設定済みの録画予約の内容を変更する」をご覧ください。

録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)

EM「録画する」➡「録画予約を確認･変更･消去する」➡「録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)」をご覧ください。

不要な録画予約を消去する

番組表または予約一覧から不要な録画予約を消去することができます。

番組表から録画予約を消去する

録画予約の消去は1予約ずつとなります。

1 番組表を押す

2 録画予約を消去したい番組を選んで録画を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押してください。
- 録画予約が消去され、選んだ番組から が消えます。
- 録画の代わりに決定を押して番組内容を表示させてから録画予約を消去することもできます。
- 設定が終わったら、戻るを押してください。

予約一覧から録画予約を消去する

1 番組表を押す

2 オプションを押して、予約一覧を選んで決定を押す

3 予約を消去したい番組を選んで黄を押す

- 選んだ番組に【⊘】が付きます。

4 複数の予約を消去したいときは、さらに番組を選んで決定を押す

- 選んだ番組に【⊘】が付きます。
- 緑を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- 黄を押すとすべての番組の選択を解除できます。

5 番組を選び終わったら、赤を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押してください。
- 予約一覧画面に戻ります。

録画についての補足説明

本体 USB-HDD

録画全般

■ 録画中に本体／USBハードディスクの残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

録画予約全般

予約録画があるときの本機の動き

▷ **予約開始時刻の直前になると**

- 本機の電源がオンのとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を電源オフにしても録画は中断されません。
- 本機の電源がオフのときは、電源がオフのまま録画が実行されます。

▷ **予約終了時刻になると**

- 自動的に録画が終わります。

代理録画

■ 予約録画が実行できない状態でも、本体が録画可能な状態であれば本体に代理で録画します。(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)

■ 以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。(他にも代理録画される場合があります。)

▷ **USBハードディスクに予約録画するときに**

- USBハードディスクの残量時間が足りない
- 録画可能なUSBハードディスクを接続していない

視聴予約と予約録画が重なったときは

どちらも実行されます。ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。

予約が重なったときは

予約を決定するときに確認画面が表示されます。

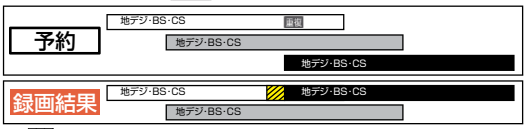
重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で**【はい】**を選んで)決定を押すと、**【予約一覧】**が表示されます。
- 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には 重複 が付いて表示されています。
- 本機は録画用のチューナーとして、「地デジ·BS·CS·BS4K·CS4Kの番組を録画可能なチューナー」と「地デジ·BS·CSの番組のみを録画可能なチューナー」の2つを搭載しており、以下の予約録画動作となります。
  - 地デジ·BS·CSと地デジ·BS·CSを2番組同時に録画できます。(3番組同時に録画することはできません。)
  - BS4K·CS4KとBS4K·CS4Kを2番組同時に録画することはできません。
  - 地デジ·BS·CSとBS4K·CS4Kは最大で2番組まで同時に録画できますが、予約の設定状況によっては、2番組の重なりでも 重複 が付き1番組のみの録画になる場合があります。(重複 が付いていない場合は、2番組同時録画が可能です。)

予約が重なっており、一部またはすべての録画ができない場合は

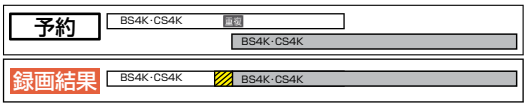
- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い予約が優先的に録画されます。

例:地デジ·BS·CSの予約録画が3番組重なっていることで、予約一覧で 重複 マークが表示されている場合



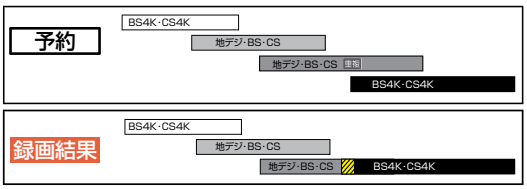
※ ▨ の部分(約20秒)は録画されません。

例:BS4K·CS4Kの予約録画が2番組重なっていることで、予約一覧で 重複 マークが表示されている場合



※ ▨ の部分(約20秒)は録画されません。

例:地デジ·BS·CSとBS4K·CS4Kの予約録画が2番組重なっていることで、予約一覧で 重複 マークが表示されている場合



※ ▨ の部分(約20秒)は録画されません。

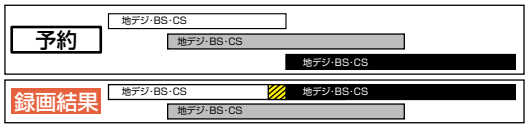
同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い予約が開始したときに、開始時刻が早い予約が停止します。
- 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。

連続する予約の場合は

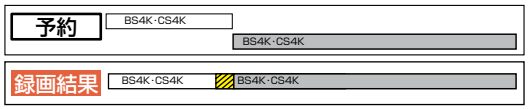
連続する予約（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ）の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されないことがあります。

例：地デジ・BS・CSの予約録画のみの場合



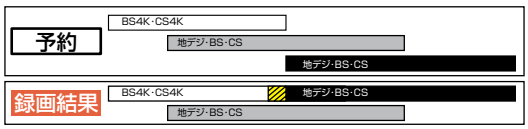
※ の部分（約20秒）は録画されません。

例：BS4K・CS4Kの予約録画の場合



※ の部分（約20秒）は録画されません。

例：地デジ・BS・CSとBS4K・CS4Kの予約録画がある場合



※ の部分（約20秒）は録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源がオンになって復帰処理をおこないます。
- 停電によって予約録画が中断したときは、予約一覧でお知らせします。P.37

録画の種類別では

▷ 予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。

▷ 予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源がオフになります。

録画先では

▷ 本体／USBハードディスク

- 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、**[すべての情報を初期化する]**が必要となることがあります。P.46
- USBハードディスクへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によって停電復帰後の予約録画の続きが本体に代理録画されることがあります。

予約録画が正常におこなわれなかったときは

■ 録画予約の重なりや停電などの要因で録画が正常におこなわれなかった予約は、**[予約結果のお知らせ]**画面にまとめられます。予約一覧で、青を押すとお知らせ内容が表示されます。**[戻る]**を選ぶと、そのまま確認画面に戻り、**[お知らせ消去]**を選ぶと予約のお知らせが一覧から消去されます。

■ 複数の予約のお知らせを消去するには、**[予約結果のお知らせ]**画面で黄を押してから消去したい番組を選んで決定を押します。選んだ番組に**[✓]**がつくので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、赤を押します。確認画面が表示されるので**[はい]**を選んで決定を押してください。（予約一覧の表示方法については、「設定済みの録画予約を確認する」をご覧ください。）P.37

■ **[予約結果のお知らせ]**画面にまとめられる番組は、最大30件です。30件をこえた場合は、古い番組から順に消去されます。

お知らせ
- 最大記録可能数／登録数については、「録画の前に」をご覧ください。P.34

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。

（例）
- 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
- 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
- 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

- 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。

（例）
- 昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
- 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」の例に従って録画されます。P.40
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合のみ有効となります。

録画した番組を再生する

本体 USB-HDD

本機では本体やUSBハードディスクに録画した番組を再生することができます。
■ 本機で記録したUSBハードディスクは、他の機器では再生できません。

▶準備

- USBハードディスクを再生するときは、USB 1 通常録画(HDD用)端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

録画一覧から再生する

1 録画一覧 を押す

2 本体 または USB-HDD を選んで 決定 を押す

- USBハードディスクが接続されていない場合は、本体の録画一覧が直接表示されます。
- 録画一覧が表示されます。
- ホーム ➡ 録画一覧 を選んで表示することもできます。
- 録画一覧 を押すと、録画一覧画面を終了します。

3 見たい番組が入った分類を選んで 決定 を押す

4 見たい番組を選ぶ

5 再生 または 決定 を押す

再生中に番組内容を見る

番組内容 を押す

- 番組内容が表示されます。

再生を一時停止する

一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生、一時停止 または 決定 を押すと再生に戻ります。

再生を停止する

停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。

▷録画中の番組を再生するには

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見ることができます。

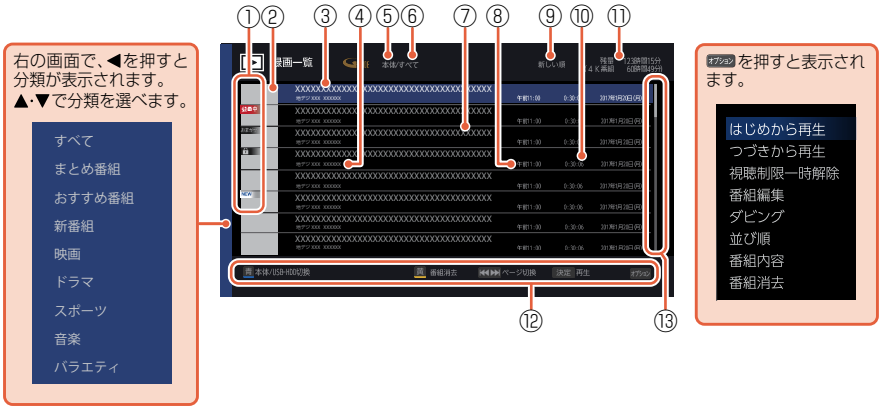
EM「再生する」➡「再生するときの操作」➡「追っかけ再生(録画中の番組を最初から見る)」

録画一覧(録画した番組の一覧)について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。
録画一覧では、録画された番組が並ぶ「番組一覧」を表示します。また、ジャンルやお好みの名前で作成した分類に番組がまとめられた画面に切り換えることもできます。

録画一覧の見かた

ご注意 ● 分類によって録画一覧の表示は異なります。以下は、「すべて」内の番組一覧の表示例になります。



① 番組の種類
録画中 :録画中の番組
録画が終わると 録画中 が NEW になります。
NEW :未再生の番組
再生すると NEW は消えます。
おまかせ :おまかせ録画された番組
:保護された番組

② サムネイル(番組の冒頭画面)
③ 選択中の番組
④ 放送局名
⑤ 操作中のメディア
⑥ 分類の名前
⑦ 番組名
⑧ 録画開始時刻
⑨ 番組並び順の種類
⑩ 番組総時間
⑪ 残量
残量が10時間未満になると赤字に変わります。
また、おまかせ録画を使用している場合に自動消去をおこなう条件になると赤字に変わります。
くわしくは
EM 「再生する」➡「録画した番組を再生する」➡「録画一覧(録画した番組の一覧)について」➡「録画一覧の見かた」
⑫ ガイド表示
青 を押すと、本体とUSBハードディスクの切り換えができます。
黄 を押すと、番組を消去できます。
⑬ スクロールバー
9番組以上あるときに表示されます。

再生するときの操作

本体 USB-HDD

準備

- USBハードディスクを再生するときは、USB 1 通常録画(HDD用)端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

速度を変えて再生する

早戻し／早送り(早く見る／聞く)

再生中に 早戻し ・ 早送り を押す

- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。ただし、BS4K·CS4K放送の番組は、1段階目の早送りでも音声付きで再生することができません。
- 再生 を押すと通常の再生速度に戻ります。

スキップ·サーチ

10秒戻し／30秒スキップ(少し前や先にとばす)

再生中に 10秒戻し ・ 30秒スキップ を押す
または ◀ ・ ▶ を押す

- 押すたびに再生がスキップします。

10分戻し／10分スキップ(10分前や10分先にとばす)

再生中に スキップ ・ スキップ を押す

- 押すたびに再生を10分間隔でとばします。
- 再生位置が番組の最初から10分以内の場合は、再生中の番組の最初へ戻ります。

サーチ(見たい場面にとばす)

再生中に◀・▶を長押しする

- 長押しをしている間、再生位置【●】(青)が移動して、長押しを離したところから再生を開始します。

お知らせ

- 操作をおこなうと再生情報が画面に表示されますが、再生を開始してから約4秒が経つか、戻る を押すことで表示を消すことができます。

録画した番組を消去する

本体 USB-HDD

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。
- 録画した番組はフォルダーの中に入っています。

再生後やダビング予定のない不要な番組を消去し、本体やUSBハードディスクの空き容量を増やすことができます。

▶準備

- USBハードディスクから消去するときは、USB 1 通常録画(HDD用)端子にUSBハードディスクをつないでおく P.24

録画一覧から不要な番組を消去する

1 録画一覧 **を押す**

2 本体 **または** USB-HDD **を選んで** 決定 **を押す**

- USBハードディスクが接続されていない場合は、本体の録画一覧が直接表示されます。

3 **消去したい番組が入った分類を選んで** 決定 **を押す**

4 黄 **を押す**

消去する番組を選択する画面が表示されます。

- オプション を押して 番組消去 を選んで操作することもできます。

5 **消去したい番組を選んで** 決定 **を押す**

- ▲·▼ で消去したい番組を選んでください。
- 選んだ番組に【⊘】が付きます。
- 緑 を押すと、現在の分類内のすべての番組に【⊘】が付きます。
- 黄 を押すと、【⊘】がすべて解除されます。

6 **番組を選び終わったら、** 赤 **を押す**

7 **確認メッセージが表示されるので、** はい **を選んで** 決定 **を押す**

- 選択した番組が一括消去されます。
- 消去が終わったら、戻る を押してください。

ご注意

- ダビング中は番組を消去できません。
- 消去したい番組を選んでいるときは分類を移動できません。

本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報、デジタル著作権管理に関する権利情報などを表示します。

1 ホームを押して、⚙ ➡ デバイス設定 ➡ 端末情報を選んで決定を押す

2 ソフトウェアバージョンを選んで確認する

ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう

ネットワークを利用して、ソフトウェアをダウンロードします。

1 ホームを押して、⚙ ➡ デバイス設定 ➡ 端末情報 ➡ システムアップデートを選んで決定を押す

2 ネットワークによる更新を選んで確認する

- ダウンロード完了後、自動的にソフトウェア更新をおこないます。

お知らせ

- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ホームを押して、⚙ ➡ デバイス設定 ➡ リセットを選んで決定を押す

2 初期化の種類を選んで決定を押す

▷ **すべての情報を初期化する**

- すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
  本体の録画番組はすべて消去されます。USBハードディスクの登録情報「USBハードディスクを通常録画用として登録する」も初期化（消去）されます。登録情報を初期化すると登録済みのUSBハードディスク内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。
  EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

▷ **録画番組を残して初期化する**

- 本体／USBハードディスクの初期化はせずに、お買い上げ時の状態に戻すときに選びます。

▷ **キャンセル**

- 初期化しないときに選びます。

3 はいを選んで決定を押す

- 初期化が始まり、約1分で完了します。

ご注意

- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[すべての情報を初期化する]**をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

まるごと録画ハードディスクでできること 8040シリーズ

まるごと録画ハードディスク

録画番組を見る

まるごと録画機能で録画された番組を選んで、視聴できます。

■ まるごと録画一覧から保存予約したい番組を選んで、お好みの設定で保存予約できます。 保存した番組は、おすすめ再生から再生 ができるようになります。
くわしくは EM「まるごと録画ハードディスクについて」➡「まるごと録画番組を見る」をご覧ください。

▶準備

- まるごと録画ハードディスクをつないでおく P. 18
- テレビの入力を切り換えておく P. 19

1 リンクを押して▲・▼で「まるごと録画一覧」を選んで決定を押す

- 戻るを1秒以上長押しして **まるごと録画メニュー** ➡ **まるごと録画一覧** を選んで表示することもできます。

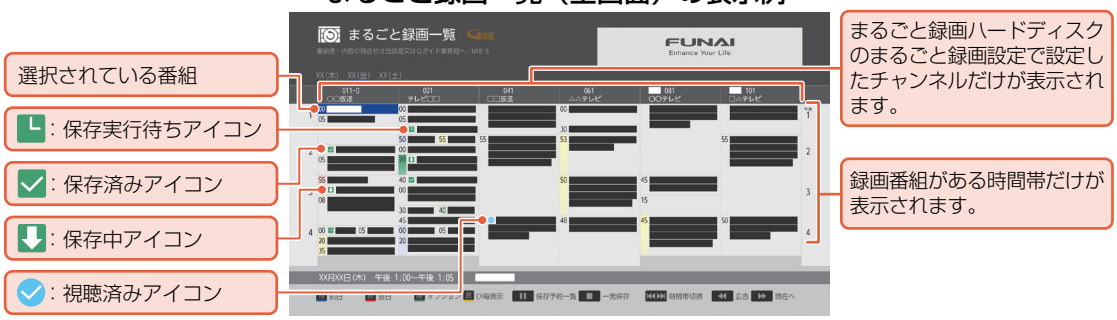
2 見たい番組を選んで再生を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- スキップ・スキップを押すと 緑 ➡ **表示時間数切換** で設定した時間に応じて、上下にページを切り換えます。
- 現在まるごと録画中の番組を最初から再生することもできます。

3 再生を終了するには停止または戻るを押す

- 再生が停止し、まるごと録画一覧が表示されます。
- 再生中に停止または戻るを1回押して再生を停止すると、レジュームポイント（再生停止位置）が記憶されます。
- まるごと録画一覧の番組表示中に再生を押すと、番組ごとのレジュームポイントから再生が始まります。
- 他の操作によっても再生が終了する場合があります。
- 番組を選びなおすには、手順2から操作してください。

まるごと録画一覧（全画面）の表示例



お知らせ

- 保存中の番組には、保存実行待ちの番組には、保存済み番組には が表示されます。（保存に関するアイコンを表示するスペースがない場合は、代わりに緑色の線 が表示されます。）
- 保存予約はすでにまるごと録画した番組の保存予約が50件、これからまるごと録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。
- 再生で視聴できる過去の番組は、まるごと録画機能で録画した番組に限られます。ただしまるごと録画した番組は、本体のまるごと録画用領域やまるごと録画用USB-HDDの容量が足りなくなると古い番組から自動的に消去されます。
- まるごと録画一覧から決定を押すと、番組内容画面に自動消去アイコンが表示されます。アイコンと自動消去される日数の目安値は以下となります。
- 24時間以内：24時間以内に自動消去　3日以内：3日以内に自動消去　1週間以内：7日以内に自動消去
- （上記の日数以内に自動消去されない予定の番組には、自動消去アイコンは表示されません。）
- まるごと録画一覧や再生画面、番組情報およびタイムバーなどは、放送波で送信されてくる番組情報をもとに表示されます。
- （視聴済みアイコン）は、まるごと録画した番組をしばらく視聴しないとまるごと録画一覧上に表示されません。
- コピーワンス（1回だけ録画可能）番組を保存中の場合は、その番組を再生できません。
- まるごと録画番組の保存についてくわしくは、
EM「まるごと録画ハードディスクについて」➡「まるごと録画番組を保存する」をご覧ください。

次ページへつづく

まるごと録画メニュー

以下に示す機能は、まるごと録画ハードディスクを接続しているHDMI入力へ切り換えて、
まるごと録画メニューを表示してから操作します。

■ まるごと録画メニューは、リモコンのリンクを押して、「まるごと録画メニュー」を選んで決定を押すと表示されます。
■ リモコンの戻るを1秒以上長押しして表示することもできます。

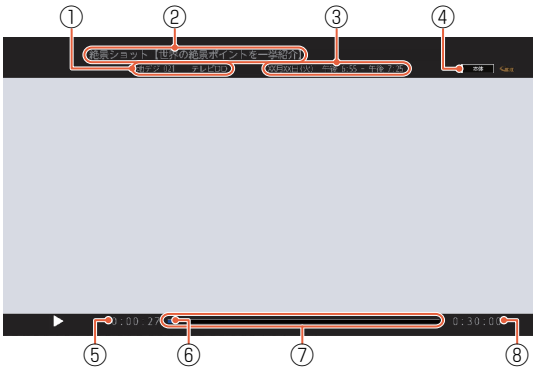
機能名（一例）		できること
	まるごと録画一覧	まるごと録画した番組の再生や保存をします。
	おすすめ再生	お気に入りの条件と見やすい画面で番組を再生します。
	設定	設定変更や診断、お知らせメールを確認します。

画面表示の見かた

▷ 現在のまるごと録画ハードディスクの状態や情報を表示するときは

リモコンの▲・▼を押すと、番組情報とタイムバーが表示されます。

▷ 番組再生中の表示例



① 放送の種類／チャンネル番号と放送局名
② 番組名
③ 番組の放送日時
④ まるごと録画ハードディスクの動作状態により、以下のどちらかが表示されます。
保存番組の再生中: 保存先のメディアの種類
まるごと録画番組視聴中: （まるごと録画アイコン）
⑤ 再生時間
⑥ 再生位置
⑦ タイムバー
⑧ 総再生時間

お知らせ
● 音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。
該当しない項目は表示されません。

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

型番			FE-65U8040	FE-55U8040	FE-65U7040	FE-55U7040
種類			4K有機ELテレビ			
内蔵ハードディスク			2 TB(2,000 GB)			
まるごと録画ハードディスク			P.50		—	
電源			AC100 V　50/60 Hz			
消費電力	起動時(W)		415	331	415	331
	待機時(W)		0.5(データ取得時／ネットワーク接続時などをのぞく)			
年間消費電力量※1			257 kWh/年※2 区分名※3:d (有機ELテレビ)	213 kWh/年※2 区分名※3:d (有機ELテレビ)	257 kWh/年 区分名※3:d (有機ELテレビ)	213 kWh/年 区分名※3:d (有機ELテレビ)
受信機型サイズ			65V	55V	65V	55V
無線LAN規格			IEEE802.11b／g／n(2.4 GHz) IEEE802.11a／n／ac(5 GHz)			
Bluetooth®	バージョン		5.0			
	対応プロファイル		GAP／HID／A2DP／AVRCP／GATT／HOGP			
音声	実用最大出力JEITA(W)		10 + 10 + 10 + 10 + 20 + 10 + 10(同時出力)			
	スピーカー		(9.8 cm × 3.0 cm + φ2.7 cm) × 2 (φ9.2 cm + パッシブラジエーターφ9.0 cm) × 1 (9.8 cm × 3.0 cm + φ2.7 cm) × 2			
地上デジタルアンテナ入力			UHF　1軸　75 Ω不平衡形			
BS・110度CSアンテナ入力			75 Ω不平衡形(C15形)兼コンバーター用電源(DC15 V)出力			
受信チャンネル(ch)			各:000～999 BS4K、110度CS4K 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル			
表示画素数			3,840ドット × 2,160ライン			
画面寸法(cm)			幅142.8 × 高さ80.3 対角163.8	幅120.9 × 高さ68.0 対角138.7	幅142.8 × 高さ80.3 対角163.8	幅120.9 × 高さ68.0 対角138.7
ヘッドホン出力端子			φ3.5 ステレオミニジャック			
ビデオ入力端子			(映像／音声)1系統　ピンジャック			
HDMI入力端子			4系統　4端子 ARC対応(HDMI1入力端子のみ)			
LAN端子			RJ-45　10BASE-T／100BASE-TX			
USB端子	USB 1 通常録画(HDD用)		Type A　DC5 V　最大900 mA			
	USB 2／USB 3 AV周辺機器用		Type A　DC5 V　最大500 mA			
光デジタル音声出力端子			1系統　1端子			
外形寸法	スタンドあり	幅(cm)	144.9	122.8	144.9	122.8
		高さ(cm)	88.1	75.7	88.1	75.7
		奥行(cm)	29.0	29.0	29.0	29.0
	スタンドなし	幅(cm)	144.9	122.8	144.9	122.8
		高さ(cm)	85.0	72.6	85.0	72.6
		奥行(cm)	6.0	6.0	6.0	6.0
質量	スタンドあり(kg)		36.3	30.1	36.3	30.1
	スタンドなし(kg)		30.9	24.7	30.9	24.7
使用周囲温度(℃)			5～35		5～40	
リモコン	型番		FRM-115TV			
	電源		DC3 V(単4形乾電池2本)			
	質量		約120 g(乾電池含む)			
	操作範囲(赤外線)		左右各約30°以内、上下約15°以内			

- テレビのV型(65V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- 省エネ法の改正(2021年5月)により、テレビの年間消費電力量の測定方法と区分名が変更になりました。本書では、新基準での年間消費電力量、区分名で掲載しています。

※1 省エネ法[2026年度基準]に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に消費する電力量です。ハードディスクを内蔵するテレビでは、1日の平均録画時間(視聴時0.4時間＋待機時0.4時間)が算出に含まれています。

※2 まるごと録画ハードディスクの消費電力量は含まれておりません。

※3 省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

仕様(つづき)

まるごと録画ハードディスク 8040シリーズ

電源	ACアダプター 入力:AC 100 V 50/60 Hz 出力: DC 12 V 4 A(付属のACアダプター)
定格消費電力	26 W(USB電源供給時 32 W)(付属のACアダプター使用時)
許容動作温度(℃)	5〜35
許容湿度	80 %最大(結露なきこと)
外形寸法(cm)	28.5 (幅) × 5.9 (高さ) × 21.5 (奥行) 突起含む 28.5 (幅) × 5.9 (高さ) × 20.4 (奥行) 突起含まず
質量(kg)	1.6
ハードディスク容量	2TB(2,000GB)
録画圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264
録音圧縮方式	MPEG-2 AAC
保存時間	EM「まるごと録画ハードディスクについて」➡ 「まるごと録画についての補足説明」の「保存時間一覧表」をご覧ください。
受信チャンネル	地上デジタル: VHF(1〜12)、UHF(13〜62)、CATV(C13〜C63)
HDMI出力端子	HDMI端子 19 ピン Type A
USB端子	**番組保存用USB端子、まるごと録画用USB端子:** USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大 各500 mA
地上デジタルアンテナ入出力	75Ω F型コネクター

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- ハードディスクの容量は、「1 TB=1,000 GB」、「1 GB=10億バイト」として計算しています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■ 保証書(梱包箱に貼り付けしています)について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社製品情報サイトの「お問い合わせ」ページ(funai.jp/cs/contact/)の修理規約も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意で引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

※ この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(外部機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- **お名前**
- **ご住所**
- **電話番号**
- **お買い上げ製品の型番**
  (この取扱説明書または保証書に記載)
- **お買い上げ製品の製造番号**
  (保証書または本機背面のラベルに記載)
- **お買い上げ日**
- **症状**(故障または不具合の内容)
  「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2020年12月現在)

症状診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下［　　］の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

全情報の初期化： 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になったりする場合があります。

全情報の初期化をおこなうと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種やUSBハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB機器や内蔵ハードディスクの初期化をおこなうと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。USB機器は再登録も必要となります。

☐ 同意する

☐ 同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

【不具合症状】

発生区分：☐ 地デジ ☐ BS／CS ☐ BS4K／CS4K ☐ ハードディスク ☐ USB機器 ☐ BDディスク ☐ DVDディスク ☐ その他（　　）

発生頻度：☐ 常時 ☐ 時々 ☐ その他（　　）

症状：（できるだけくわしく） 例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。

受信環境：☐ 戸建住宅（個別受信） ☐ マンションなど（共同受信） ☐ ケーブルテレビ（社名：　　）

接続機器：
☐ テレビ （メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ レコーダー （メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ USBハードディスク （メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ その他 （　　）

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。
（この製品の型番、製造番号は保証書および本機背面などに記載してあります。）

お買い上げ年月日	年　月　日	ACAS番号※
お買い上げ店名／電話番号	☎	
お買い上げ製品の型番	☐ FE-65U8040 ☐ FE-55U8040 ☐ FE-65U7040 ☐ FE-55U7040 （お買い上げいただいた製品の型番の☐にチェックを入れてください。）	
お買い上げ製品の製造番号		

※「ACAS情報」画面で確認できる「ID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。

ホーム ➡ ⚙ ➡ **［テレビの設定］** ➡ **［放送受信設定］** ➡ **［共通設定］** ➡ **［ACAS情報］を選んで** 決定 **を押す**

お知らせ ● 本機を廃棄や譲渡する場合は、ご契約済みの各デジタル放送局に解除または変更の連絡をおこなってください。

本有機ELテレビの廃棄

- 有機ELテレビは、2020年12月現在、小型家電リサイクル法の対象となっており、家電リサイクル法に基づく廃棄はできません。今後、法制度が改訂される場合をのぞき、市区町村、地方自治体の条例や規則に従い廃棄してください。
- 本機を廃棄されるときは**［すべての情報を初期化する］**をおこなうことをおすすめします。P.46

困ったときは

おかしいな?と思ったときの調べかた

おかしいな？と思ったときに、お困りの症状から対処法をお調べいただけます。

- **不安定な動作となる場合は、お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。または、コンセントリセットをおこなっていただき、症状が改善されるかをご確認ください。**

- 電源やリモコン以外の項目、およびまるごと録画ハードディスクについては、本機に搭載された電子マニュアルをご覧ください。

電源

このようなときは…	ここをお調べください
電源がオンにならない。	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 10 • 指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外に電源プラグを挿していませんか。 ➡ 安全のための保護回路がはたらくため、電源がオンにならなくなります。いったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、10分ほど時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100 V)につなぎなおし、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。P. 51
電源がオンにならない。 電源LED(青色)が点灯しない。	• 電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源をオンにしなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。 ➡ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。P. 51 • **【電源LED】**が**【切】**になっていませんか。
電源がオンにならない。 本機の電源ボタンで電源がオンになるが、リモコンでは電源がオンにならない。	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 10 • リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 • テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P. 14 • テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。
テレビの電源をオフにすると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源がオフになる。	• **【HDMI制御】**が有効、**【デバイスの自動電源オフ】**が有効になっていませんか。 ➡ **【デバイスの自動電源オフ】**が有効になっている場合は、本機の電源をオフにするとHDMI-CEC対応機器の電源も連動してオフになります。HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。
電源をオンにすると、**【かんたん一括設定】**開始画面が表示される	• **【かんたん一括設定】**をしていないときは、電源をオンにすると**【かんたん一括設定】**開始画面が表示されます。
リモコンで電源オフにしたあと、しばらくして動作音がした。	• 電源オフにしたあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源オフにしてから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。
電源をオフにしているときに動作音がした。	• デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください
リモコンで操作できない。	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 10 • リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 • テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P. 14 • テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 • デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1 ～ 12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 ➡ チャンネル▲・▼や番組表でチャンネル切換をしてください。
チャンネル▲・▼で、特定のチャンネルだけ選べない。	• スキップしていませんか。 選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する」
音声入力で検索できない。	• リモコンのマイクをテープなどで塞いでいませんか。 • ネットワークは接続されていますか。 EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」 • リモコンがBluetoothでペアリングされていますか。 EM「はじめに」➡「各部のなまえとはたらき」➡「リモコン」

次ページへつづく

有機ELパネル

このようなときは…	ここをお調べください
画面に赤、青、緑、白、または黒の点が発生する。	• 有機ELパネル特有の現象により、画面に赤、青、緑、白、または黒の点が発生する場合がありますが、故障ではありません。 • 有機ELパネルは非常に精密な技術で作られており、99.99パーセント以上の有効画素がありますが、0.01パーセントの画素欠けや常時点灯する点があります。
一定時間が経つと画面が暗くなる。	• 画面全体、または画面の一部が静止した状態が続くと、パネルの焼き付きを軽減するために画面が次第に暗くなります。これはパネルを保護するための機能で、故障ではありません。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。
画面に焼き付きやムラが発生する。	• 有機ELパネルは材料の特性上、画面に焼き付きが発生する場合があります。長時間同じ映像を表示し続けたり、繰り返し同じ画面を表示したりすると、パネルに焼き付き（残像）が発生することがあります。この症状は故障ではありません。パネルメンテナンスをおこなうと焼き付きを軽減できます。 EM「各種設定」➡「その他の設定をする」➡「パネルメンテナンスを実行する」
画面上に白い水平線が表示される。	• 本機を使い始めてから一定時間が経過すると、画面の焼き付きを軽減するパネルメンテナンス機能を自動的におこないます。電源をオンにした際、パネルメンテナンスのメッセージが表示される場合がありますので、画面の指示に従って開始してください。実行すると画面を消去し、焼き付き低減処理が始まります。実行中は画面に白い水平線が見えることがありますが、故障ではありません。 • パネルメンテナンスは約10分または約70分で完了し、自動的に電源がオフになります。 ※リモコンまたは本機側面の電源ボタンを押すと、パネルメンテナンスを中断します。
本機の天面やパネル面、キャビネットの温度が高くなる。	• 本機の天面やパネル面、キャビネットの温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。（本機の通風孔はふさがないように、ご使用ください。）

地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	• UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 ➡ 地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 • 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 ➡ 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。P.16
映像や音が出ない、または時々出なくなる。 映像が静止する、または時々静止する。	• UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。またはアンテナ線の劣化などありませんか。 ➡ **【受信状態の確認】**で信号品質を確認することができます。何らかの要因で信号品質が低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 • 信号品質が低い状態でご覧になっていませんか。 ➡ 信号品質が低いと、天候や近隣の環境（建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など）の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。

BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送が映らない。 映像が乱れる。	• BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 • BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設しているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 • 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 • アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工していますか。 ➡ **【受信状態の確認】**で信号品質が「20以上」になっているか、ご確認ください。 EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナを接続したとき」 • 左旋の4K放送を見るには、「SHマーク」がついた4K放送対応の右旋・左旋円偏波対応のアンテナ、壁面端子、ブースター、分配器、分波器、アンテナケーブルなどが必要です。くわしくは販売店へお問い合わせください。機器の交換が必要な場合があります。
BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送の映りが悪い。	• アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 • アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 **【受信状態の確認】**で信号品質が「20以上」になっているか、ご確認ください。 EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナを接続したとき」

BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BSおよびCS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。
代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

	表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
E204	このチャンネルは存在しません。	• チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルを入力しています。P. 14
–	地上デジタル放送のチャンネルは設定されていません。 地上デジタル設定をおこなってください。	• 地上デジタル放送を受信するために、**【テレビの設定】**で、**【かんたん一括設定】**をおこなってください。 EM「はじめに」➡「「かんたん一括設定」をする」
E202	放送を受信できません。	• 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、**【詳細を確認する】**を選択し**【アンテナの設定をおこなう】**もしくは**【チャンネルスキャンをおこなう】**をおこなってください。 • BS・CS・BS4K・CS4K放送が受信できなくなった場合は、**【詳細を確認する】**を選択し**【アンテナの設定をおこなう】**もしくは**【アンテナ電源設定を確認する】**をおこなってください。 EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」
–	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。	• 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。 EM「さまざまな情報」➡「用語の説明」➡「降雨対応放送」
–	この番組をご覧いただくには、契約・登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか?	• 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。P. 32
–	このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。	• データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。
–	ACASモジュールが使用できません。 カスタマーセンターへご連絡ください。	• いったん電源プラグをコンセントから抜いてからつなぎなおしてください。それでもこのメッセージが表示され放送を視聴できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
–	ACASモジュールが正しく動作していません。 カスタマーセンターへご連絡ください。	• いったん電源プラグをコンセントから抜いてからつなぎなおしてください。それでもこのメッセージが表示され放送を視聴できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	• 選局したチャンネルが非放送番組です。
–	このチャンネルは現在放送されていません。	• 選局したチャンネルが放送休止中です。
E210	この受信機では、このチャンネルは選局できません。	• 本機では選局できないチャンネルです。
–	データ放送を受信できません。 別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	• データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
–	データの表示ができませんでした。 別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	• データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
–	8K放送の視聴や録画はできません。 別のチャンネルを選んでください。	• 本機は8K放送に非対応です。 ➡ チャンネル▲・▼などで、別のチャンネルを選んでください。

操作全般

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
まもなく、USBハードディスクへの予約録画を開始します。USBハードディスクへ録画できない場合は、録画先を本体に変更します。	• 録画可能なUSBハードディスクを接続していません。P. 24
	• 同時操作によってUSBハードディスクに録画できません。 ➡ 本体に空き容量がある場合は、代理録画されます。 EM「録画する」➡「録画についての補足説明」

メール

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
ホーム画面の**【設定する】**からメールを確認してください。	• 新着のお知らせメールがあります。 ホーム ➡ ⚙ ➡ **【テレビの設定】** ➡ **【お知らせメール】**からメールの内容を確認してください。 • EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「お知らせメールについて」

次ページへつづく

テレビ画面に表示されるメッセージ(つづき)

USB

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
USBハードディスクを確認してください。 通常録画用として登録しているUSBハードディスクが接続されていません。 または本機で記録できないUSBハードディスクが接続されています。	• USBハードディスクを認識できません。もしくは認識できないUSBハードディスクを接続しています。USBハードディスクを確認してください。
	• 本機で登録できるUSBハードディスクの容量は、32 GB～6 TBになります。USBハードディスクの最新情報や詳細は、当社製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ(funai.jp/cs/device/)でご確認ください。
	• 登録設定したUSBハードディスクが、USB 1通常録画(HDD用)端子に接続していない可能性があります。接続を確認してください。P. 24

録画

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
録画容量不足により、録画を中止しました。	• 本体／USBハードディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。
録画時間が15時間をこえたため、 録画を停止しました。	• 本体／USBハードディスクへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。
	• 本体／USBハードディスクへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。

予約

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
本体の残量が不足しています。	• 本体／USBハードディスクの残量が不足しています。 ➡ 決定を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。P. 43 代理録画について、くわしくは「録画についての補足説明」をご覧ください。P. 40
USBハードディスクの録画容量が不足しています。	
予約登録数がいっぱいのため予約登録できません。	• 予約登録数が上限の200に達したので、不要な予約を消去してください。P. 39

消去・編集・ダビング

表示されるメッセージ　(例)	メッセージの意味と対応のしかた
この番組は保護されているため、 ダビングできません。	• 「移動」になる番組を保護しているときは、ダビングができません。 ➡ 番組の保護を解除してください。 EM「編集する」➡「番組名を変更する･番組を保護する」➡「番組を保護する」
最大登録数をこえるため、選択できません。	• ダビングリストの登録番組数がいっぱいになっています。 EM「ダビングする」➡「複数の番組をまとめてダビングする」➡「ダビングリストから番組を消去する」 • ダビングリストに登録できる番組数は最大36番組です。
番組数が上限をこえています。 ダビングする番組を減らしてください。	• ダビング先の番組総数が、限界をこえます。 ➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。 EM「ダビングする」➡「複数の番組をまとめてダビングする」➡「ダビングリストから番組を消去する」

著作権などについて

▷ 商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。船井電機株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴ R」、「UD新丸ゴ R」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Vision、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-2020年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

Dolby Vision·Atmos

- Google、Google Play、YouTube、Android TV、およびその他のマークは Google LLC の商標です。

YouTube

- Amazon、Prime Videoおよび関連する全ての商標はAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

prime video

- Huluは、Hulu, LLCの登録商標です。

hulu

- 「U-NEXT」とU-NEXTロゴは株式会社U-NEXTの商標または登録商標です。

U-NEXT

- 「dTV」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

dTV

- ABEMAおよびABEMAロゴは株式会社AbemaTVの登録商標です。

ABEMA TVxVIDEO ENTERTAINMENT

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておりません。
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

▷ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
  Portions of this software are copyright (C) 2006, 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Player を搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License（以下、GPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、ホーム ➡ ⚙ ➡ **【デバイス設定】** ➡ **【端末情報】** ➡ **【法的情報】** でご確認いただけます。
組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。
〒574-0013　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
船井電機株式会社
なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。
当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

著作権などについて（まるごと録画ハードディスク）

8040シリーズ

▷ ライセンス情報 本製品に使用されるソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれのソフトウェアコンポーネントには、当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
  Portions of this software are copyright (C) 2006, 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品には、GNU General Public License（以下、GPL）およびGNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェアが搭載されています。
  - GPLソフトウェア： Linux、busybox、dhcpcd、ViXS AV driver、mtd-utils、mkdosfs、exfat-utils
  - LGPLソフトウェア：DirectFB、eglibc
- 本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。
- 詳細については、
  リンク
  を押して、**【まるごと録画メニュー】➡【設定】➡【本体設定】➡【その他】➡【ソフトウェア情報と更新】**の**【ライセンス情報】**でご確認いただけます。
- 組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。
  （連絡先）
  〒574-0013
  大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
  船井電機株式会社

▷ 著作権について

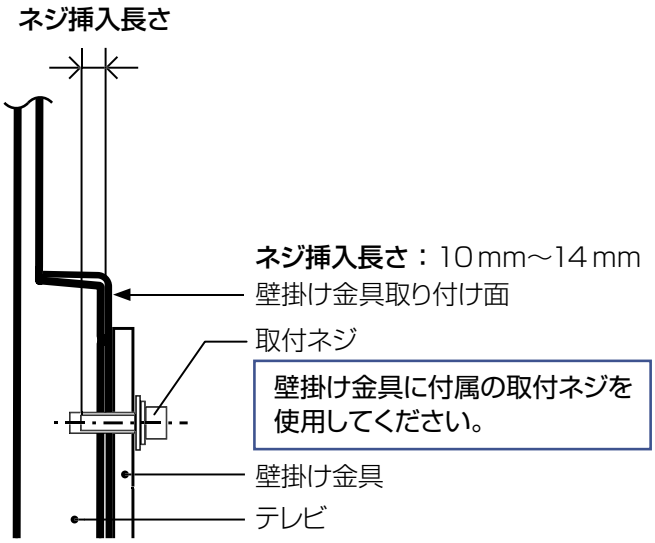
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておりません。詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴR」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

壁掛け金具取り付け時について

壁掛け金具（市販品）取り付け時の注意

- **壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。**
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全の場合は、けがの原因となります。
- 壁掛け金具（市販品）を取り付ける際は、壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛け金具に付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け金具取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定しています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前に必ずご確認ください。



取り付け部断面図の一例

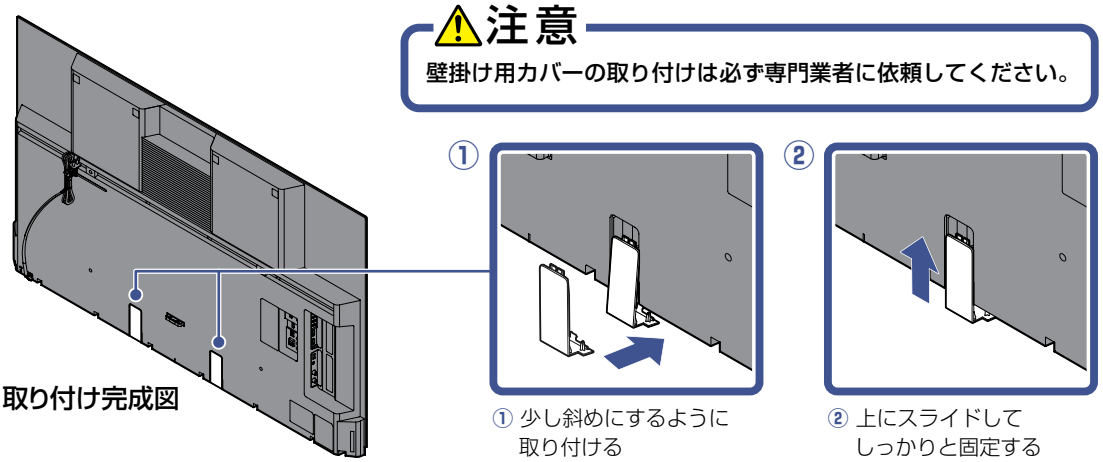
⚠注意

壁掛け金具取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。
ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

※本機で推奨される壁掛け金具については、当社製品情報サイトの「壁掛け金具」ページ（funai.jp/cs/wall-mount/）でご確認ください。

▷「壁掛け用カバー」について

本機に付属している「壁掛け用カバー」を使用することで、スタンド支柱挿し込み用の穴をふさいで、壁掛けする際の見た目をより美しくする事ができます。

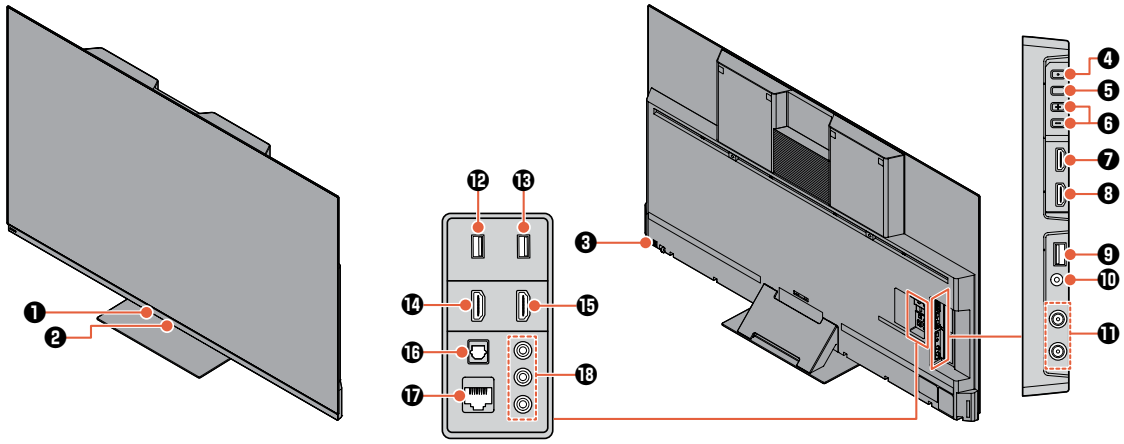


⚠注意

壁掛け用カバーの取り付けは必ず専門業者に依頼してください。

Name and function of each part

Front view/side view/rear view



❶ Ambient light sensor window/remote control infrared sensor window

❷ Power-on indicator

Glowing blue
·····The TV is on.
Glowing white
·····The TV is off and a video recording reservation(s) is set, or currently recording.
Glowing pale blue
·····The TV is on and a video recording reservation(s) is set, or currently recording.
Off
·····The TV is in standby mode, or the power indicator setting is set to **[off]**.
Blinking white
·····Panel maintenance is being performed.

❸ Slot for an antitheft device

❹ Power (電源)

❺ Function (機能切換)

Each press of the button switches the function (Input source/Channel/Volume).

❻ Volume (音量)

Adjusts the volume.
Used to change each settings in the Input source/Channel functions.

❼ HDMI port 4

❽ HDMI port 3

❾ USB port 3 for AV device connection

Connect a USB flash drive, etc.

❿ Stereo headphone jack

⓫ Terrestrial digital broadcasting/BS/CS antenna input

(Above) Terrestrial digital broadcasting input
(Below) BS/CS input (4K satellite broadcasting compatible)

⓬ USB port 1 for an external HDD for normal recording

⓭ USB port 2 for AV device connection

Connect a USB flash drive, etc.

⓮ HDMI port 1 (ARC compatible)

⓯ HDMI port 2

⓰ Optical digital audio output port

⓱ LAN port

⓲ Video jacks

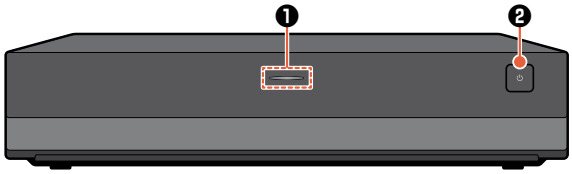
お知らせ

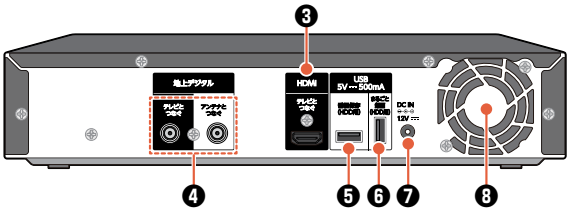
- When turning off the TV by pressing the power button, the TV will be placed in standby mode. While in standby mode, the circuits for the minimum system functions (the digital tuner, etc.) are still kept energized.
- The TV may automatically receive digital broadcast maintenance information and update its software. It is recommended that the AC cord is kept plugged in unless it will not be used for a long period of time, or an abnormality has been found.
- If the TV becomes inoperable on Digital broadcasting, due to poor reception, unplug the AC cord and plug it back in after a few minutes.
- Picture distortion may occur during special playback (fast forward, pause, etc.).

ご注意

- AC cord must be unplugged when making connections.
- When connecting the video/audio cable, the color of the cable end and the input on the TV must match.
- **Video**···Yellow, **Audio-Left**···White, **Audio-Right**···Red
- Plug in the cables firmly. Failure to do so may cause noise and/or distortion.
- Grab the AC plug when unplugging. Do not pull the AC cord.
- If connected devices are placed too close to the TV, noise and/or distortion may occur. Keep devices far enough to not interfere with each other.
- Depending on the connecting device, connection methods may differ. Also check the instruction manual of the connecting device.
- Recorded pictures and sound are only allowed for private use, and are prohibited from use without permission of the rights holder for copyright reasons.
- Do not connect any devices other than USB hard disk for normal recording, AV device (such as USB memory), USB keyboard, or USB mouse, to the USB ports. The USB mouse or keyboard may not work depending on the application.

Multi-channel recording hard disk front view/rear view 8040 series





❶ Power-on Indicator

Glowing blue
……The power is on.
Glowing white
……The power is off (multi-channel recording).
Blinking white
……Updating software.
Off
……The power is off (standby mode)*.
(No problem even if the power plug is unplugged)

* Depending on the usage condition, it may take some time for the indicator to turn off after the power is turned off (standby mode).

❷ Power button

❸ HDMI output port for TV

❹ Terrestrial digital antenna input/output port

❺ USB port for saving programs

❻ USB port for multi-channel recording

❼ AC adapter jack

❽ Cooling fan

ご注意

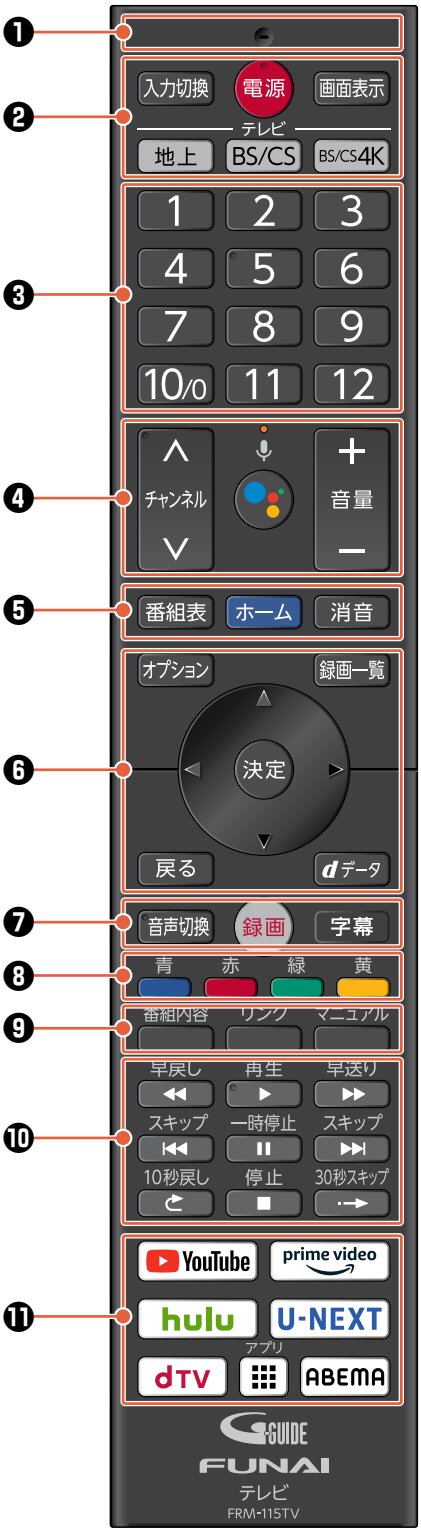
- DC IN 12 V (⎓) refers to 12 V direct current.
- Even when the power-on indicator is turned off, the multi-channel recording hard disk and AC adapter are still energized.
  Unplug the AC adapter to completely stop the energization.
- For better heat dissipation, leave at least 10 cm space above and around the multi-channel recording hard disk. Do not block the ventilation holes and cooling fan.

お知らせ

- The rear cooling fan is always turning except when the power of the multi-channel recording hard disk is turned off (standby mode).

Continued on next page

Remote control



❶ **Microphone**
Recognizes voice.

❷ **Input source（入力切換）**
Each press of the button switches the input source.

Power（電源）
Turns on/off.

Display（画面表示）
Displays the program name currently being viewed, channel number, type of broadcast, audio format, current time, etc.

Terrestrial digital broadcasting（地上）
Switches to Terrestrial digital broadcasting.

BS/CS
Each press of the button toggles between BS and CS broadcasting.

BS/CS4K
Each press of the button toggles between BS 4K and CS 4K broadcasting.

❸ **Numeric buttons**
To directly select a channel

❹ **Channel（チャンネル）**
Switches channels up and down within the broadcasting type of currently being viewed.

Light
Blinking
·····The remote control is in pairing mode.
Lighting
·····The Google Assistant button is pressed and microphone is enabled.

The Google Assistant
Press the Assistant button on your remote to talk to your Google Assistant.

Volume（音量）
Adjusts the volume.

❺ **EPG（番組表）**
Displays the Electronic Program Guide for Terrestrial digital broadcasting, BS digital, CS digital, BS 4K, and CS 4K.

Home（ホーム）
To call up various functions.

Mute（消音）
Mutes the sound. Press again to unmute.

❻ **Option（オプション）**
Various settings can be modified for the currently viewed screen.

Recording list（録画一覧）
Displays the recording list.

OK（決定）／▲·▼·◀·▶
To select an item and confirm it on the option menu, etc.

Back（戻る）
Return to the previous screen while the option menu is displayed.

d-data（dデータ）
Digital broadcasting includes TV broadcasting, BS radio broadcasting, and Data broadcasting. Various kinds of information can be obtained by button operation while viewing the broadcasting.

❼ **Audio（音声切換）**
The audio in a TV program can be bilingual, stereo, surround, etc., and the suitable audio is automatically chosen. When a program is a bilingual broadcast or it contains multiple audio signals, you can choose your desired audio.

Rec（録画）
Starts recording.

Subtitles（字幕）
Some programs of Digital broadcasting have subtitles. Subtitles can be turned on and off, and a language can be selected.

❽ **Color buttons（青／赤／緑／黄）**
Used while viewing Data broadcasting, or while the EPG or recording list is displayed.

❾ **Program info（番組内容）**
To confirm the program information.

Links（リンク）
Displays the link menu.

Manual（マニュアル）
Displays the electronic instruction manual.

❿ **Fast reverse/playback/fast forward/skip back/pause/skip forward/10 sec reverse/stop/30 sec skip forward（早戻し／再生／早送り／スキップダウン／一時停止／スキップアップ／10秒戻し／停止／30秒スキップ）**
Used to play a recorded program.

⓫ **YouTube/Prime Video/Hulu/U-NEXT/dTV/ABEMA**
Accesses each video streaming service.

App（アプリ）
Displays the App list (Apps that have been installed).

▷ Remote control operable ranges (infrared ray)

When using the remote control, direct it to the infrared sensor window of the TV.
Distance···Within 7 m from the front of the TV
Angles·····From the front of the TV — Above/Below: within approx. 15° (within 5 m),
Left/Right: within approx. 30° (within 5 m)
Remote control operable ranges will differ when the remote control is connected via Bluetooth®.

お知らせ
- Instead of the power button (電源), the video streaming service buttons will also turn on the TV.
- For details on how to operate the multi-channel recording hard disk, refer to EM "Introduction" ➡ "Name and function of each part" ➡ "Remote control".

ご注意
- The remote control needs to be paired with the TV via Bluetooth® to enable voice recognition using the microphone.
- When inserting a dry-cell battery, confirm the "+ / –", and insert it from the "–" side first.
- The remote control is inoperable if the batteries are weak, or the "+ / –" are reversed.
- The remote control of the TV is not compatible with TVs made by other manufacturers or our old TV models.
- Remote controls are precision instruments. Please handle with care. When pressing a button, press it down vertically and lightly.
- Remote operation may become unreliable if strong light is shining on the infrared sensor window of the TV.

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、**お買い上げの販売店へ**お問い合わせいただくか、
FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページ　funai.jp/cs/
をご覧ください。製品の取り扱いに関するお役立ち情報が満載です。

● 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は（通話料：無料）　携帯電話からのご利用は（通話料：有料）

0120-055-271　**0570-008-271**

受付時間　9：00～18：00（年末年始を除く）

※時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方はこちらまで　FAX：06-6746-3374

■ 付属品のご購入についてはこちらをご確認ください。

https://www.funai-service.co.jp/shop/funai/

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2024年3月現在）

愛情点検

● **長年ご使用の製品の点検を！**（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

→ **ご使用中止**　このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

FUNAI

船井電機株式会社

PE28ZJJ-65UL
PE2RZJJ-55UL
PE28AJJ-65UL
PE2RAJJ-55UL
バージョン：1.2